2027年度（令和9年度）

学生募集要項

総合型選抜

- □ 総合評価方式
- □ 総合評価方式　特別枠
  （帰国生徒／キリスト教学校教育同盟／スポーツ／同窓生徒／キリスト者）
- □ グローバル人材育成奨学生選抜
- □ 探究入試（Spiral）
- □ 基礎力評価方式

桜美林大学
J. F. Oberlin University

●この冊子の情報は2026年6月12日現在の情報に基づくもので、その後変更になる場合がありますので、最新情報は本学Webサイトで確認してください。

●選抜方式によっては募集のない学群・専修・専攻等がありますので、各選抜方式のページで募集する学群等を必ず確認してください。

目　次

I　入試概要 …… 4

1 桜美林大学のアドミッションポリシー（学生の受入れ方針） …… 4
2 学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針） …… 5
3 総合型選抜 各方式 …… 8
4 出願から入学手続までの流れ …… 12

II　募集内容・出願資格 …… 14

1 募集学群・募集人員・選抜方法 …… 14
2 出願資格 …… 17
3 課題図書 …… 20
4 総合型選抜 …… 21
- A　総合評価方式（第1回・第2回・第3回・第4回） …… 23
- B　帰国生徒（第1回・第2回）／キリスト教学校教育同盟（第1回・第2回） …… 26
- C　スポーツ（第1回・第2回・第3回・第4回） …… 29
- D　同窓生徒（第1回・第2回） …… 32
- E　キリスト者（第1回・第2回） …… 35
- F　グローバル人材育成奨学生選抜（第1回のみ募集） …… 38
- G　探究入試（Spiral）（第1回・第2回、ディスカバ！育成型のみ募集学群限定で第3回・第4回） …… 43
- H　基礎力評価方式（第1回・第2回） …… 50

5 総合型選抜（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース） …… 55
6 グローバル・コミュニケーション学群の審査方法 …… 58
7 芸術文化学群の審査方法 …… 61
8 教育探究科学群の「コネクト要件」について …… 65

III　出願手続 …… 66

1 出願上の注意事項 …… 66
2 検定料および航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースの2次審査費について …… 67
3 受験票 …… 67
4 試験当日の注意事項 …… 68
5 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方 …… 69
6 出願書類の作成における生成AIの利用について …… 69

IV 合否照会・入学手続 71
1 合否照会・合格通知 71
2 入学手続等（学納金の納入について） 71
3 入学後の渡航に関する注意事項 71
4 学納金 72

V 個別の入学資格審査 74

VI その他 76
1 個人情報の取り扱いについて 76
2 入学前教育のご案内 76
3 奨学金制度 76
4 入学後に主に通うキャンパスについて 77

出願様式

Ⅰ 入試概要

1 桜美林大学のアドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

１．輩出する学生像

桜美林学園のミッションは、キリスト教の精神を礎とし、教育や研究において誠実に真理を求め、隣人を思いやる心を持って、仕えることのできる人材を大学での学びと経験を通じて世に送り出すことです。
1921年5月に中国・北京から始まった学園の歴史的な観点を鑑みてもグローバル社会での活躍に必要不可欠な外国語運用能力、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を全ての学生に身につけさせます。
さらに予測不可能な様々な社会問題を解決に導くことのできる教養を高め、これからの社会を担う人材を輩出することにあります。

２．求める入学者

本学は、このミッションに共感し、本学の教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心が持てる学生等であることを期待します。
また、主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

３．入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生等には、以下の3点を身につけて入学してくることを求めます。
なお、選抜方法は、学群の特性も踏まえ、多様な入学者選抜制度を駆使して多角的に評価します。

①高等学校の学習指導要領に基づく学習範囲の知識・技能を修得していること。
（海外からの応募者はそれぞれの国や地域の高等学校までの課程を修了していること）

②高等学校までの学習や諸活動を通じて、様々な課題や困難に向き合い、その解決のために試行錯誤を繰り返す中で身につけた「思考力、判断力、表現力」があること。

③高等学校までの学習、部活動や外部のコミュニティ活動での共生、協働を通して、主体性や積極性を持って、チーム等で目標や課題に取り組んできた経験を有すること。

４．入学者選抜の基本方針

「キリスト教精神を礎として、教育を通してグローバルな社会に貢献する人を育成する」ことが桜美林学園の建学の理念です。
また、学園の行動指針である「学而事人（がくじじじん）」（学んだことを人や社会のために役立てる）の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することが期待されています。
これからの社会に、「グローバルな人材」「『学而事人』の精神を受け継ぐ人材」を輩出しようとする本学は、教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待しています。
そして、主体的に学び、経験を積み、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人たちとコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

2 学群別アドミッションポリシー（学生の受入れ方針）

リベラルアーツ学群

リベラルアーツ学群は、多文化理解を推し進め、一つの専門性だけにとらわれない学際的思考を駆使し、優れた分析・表現力をもって学問を通じた社会貢献を行う、国際性を有した「自立した学習者」（Independent Learner）を育成していきます。また、興味・関心や社会文化的背景の異なる多様な学生が集い、学び、知的刺激を与え合える教育の機会を提供します。そのため、本学群の学びは、幅広い学問に触れると同時に、本人の関心に応じて人文学、社会科学、自然科学のいずれかをより深く学び、拠って立つ足場、すなわち学問的基礎を修得することからはじまります。学生は、学問的基礎の修得を続けて各分野の専門性を深め、分析・表現力を養うと同時に、他の専門分野に対する理解や専門横断的な知見、俯瞰的な視野をあわせもち、一つの専門の枠にとらわれない自由な学際的思考を身につけていきます。加えて、学生は、留学やサービスラーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い、国際性や多様な文化を理解する力、学問を通じた社会貢献ができる力を身につけます。以上の学修や経験を通して、未来を予測することが困難な時代の中で生きる力を養います。

【求める学生像】

学群の教育システムに共感し、学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者

②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者

③広い分野の基礎的学力を持ち、人文学、社会科学、自然科学の領域・専門分野への強い関心を有する者

④新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。
グローバル・コミュニケーション学群では、その基礎となる高度な外国語運用能力を修得し、グローバル化した社会で増えている多文化が共存するコミュニティをよりよく機能させるために必要な専門知識を学びます。真の多文化共生社会を実現する過程で直面する問題や課題に対し、多角的な視野と専門知識をもとに思考と分析を行い、言語の壁を超えた高いコミュニケーション能力を生かして、コミュニティにおいて欠かせない存在として、課題解決に向け、共同作業の中で自己の役割を堅実に果たせる人材を育成します。

【求める学生像】

学群の教育理念に共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域、背景を問わず求めます。
また、ここでの学びを始めようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に外国語運用能力）

②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者

③世界の国・地域および自国に対して強い関心を有する者

④グローバル社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有し、多文化共生実現に強い関心と意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

ビジネスマネジメント学群

「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。
さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。
特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者

②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者

③社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者

④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

健康福祉学群

少子高齢社会や多様で高度な福祉ニーズに対応できる、健康と福祉のプロフェッショナル育成を目的としています。専門職として活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまらず、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。
グローバル社会においては、多様性の尊重は基本理念であり、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性を備え、様々な立場の人を理解し、受けいれ、共生社会の実現に貢献する実践家であることが期待されます。
そこで、学群に、「健康・スポーツ領域」「福祉・心理領域」「保育領域」の3つの学問領域、6つの専攻（健康科学・スポーツ科学・社会福祉学・精神保健福祉学・実践心理学・保育学）を配置し、マイナープログラムと併せて、自らが興味関心を抱いた専門的な学びを深めるとともに、関連領域にも学びを発展させます。
4年間の学生生活では、知識・理解を深める学びにとどまらず、体験的・実践的な学びを積み重ねることにより、社会の課題を解決する実践力を身につけます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。
また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者

②自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者

③人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者

④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

芸術文化学群

芸術の創り手として作品やパフォーマンスを提供する人材のみならず、幅広い芸術活動を通じて社会の発展に寄与する人材は、人間文明の初期から現在まで変わらずに必要不可欠な存在です。特に時代の変換点に立つ現代社会では、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤を通して、そのプロセスに潜在する「予測困難な問題」を見つけ出し、さらにはその問題を解決に導くことの出来る人材が必要とされています。

本学群では、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」というそれぞれの領域において、人間の営みと密接な関わりを持つこのような芸術文化を理解し、その理論や歴史、表現を学ぶことで社会を構成する自分自身と多様な他者をより深く探求して共に生きる力を身につけようとする学生を求めます。

【求める学生像】

学群の教育の考えに共感し、学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者

②創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者

③自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者

④芸術、文化、人間、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

教育探究科学群

本学群は、ディプロマ・ポリシーへの到達によって、生涯を通じて営まれる種々の教育的活動を通じ、自らの探究心と好奇心をもとに社会を改善していく者の育成を目指しています。卒業後に所属する組織や企業においては、教育学的指向と探究科学の手法を活かし、人、物事、アイデア、組織などをつなぐ共創型のファシリテーション機能を持つことを期待されています。
授業においては、自らの探究心や好奇心に基づく意思決定の機会が多く、また、「学びあい、教えあい」のコンセプトのもと、自らが学ぶだけでなく、他者に教えることによって学んでいくため、自他の成長への関心を持っている必要があります。

【求める学生像】

本学群は、学群の価値観や文化に共感する者を求めており、その選抜においては、以下の資質や能力をはかります。

①関心意欲が高く、色々な物事に興味関心を持てる好奇心を有する者

②主体的に学習に取り組む態度を有する者

③「学びあい、教えあい」のコンセプトや、自他の成長や変化への関心を有する者

④教育的活動を通じ、社会を良くしたいという意欲を有する者

⑤探究的な学びへの関心を有する者

航空学群

本学群は、「航空機の操縦」、「航空管制」、「航空機の整備管理」、「空港の運営」等、航空の各分野で活躍できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。これらの分野で活躍するためには、航空工学、種々の法規程類を理解し、かつ高い語学運用能力を兼ね備える必要があります。さらに、経済、経営にも関心を持ち幅広く横断的な知識と高度な専門知識と技量を習得し、豊かなマネジメント能力が求められます。航空業界ひいてはグローバル社会に貢献できる人材を育成していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

①高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者（特に、外国語運用能力と数理科学に関する基礎的な知識・技能）

②自ら進んで学ぶ強い意欲と自律心を有する者

③グローバルな社会の出来事、航空業界、国や地域、関連する産業界等の取り組みに強い関心を有する者

④社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者

⑤建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

3 総合型選抜 各方式

総合型選抜では、高等学校までに修得すべき基礎的な知識および技能だけを評価するのではなく、以下のような観点から多面的な人物評価を行います。

■共通事項

「建学の理念」と希望する学群の「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」の三つの方針を十分に理解しておく必要があります。
1次審査（書類審査もしくは基礎力審査）では、「基礎学力（知識・技能）」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を多面的に評価します。特に、高等学校時代の学びや活動を通して、主体的に取り組む姿勢、困難を乗り越える力、多様な価値観を受け入れようとする態度、他者とともに課題に向き合う行動力等を評価します。2次審査（面接）では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎学力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

総合評価方式

1次審査（書類審査）では、高等学校時代の学びや活動を通して、主体的に取り組む姿勢、困難を乗り越える力、多様な価値観を受け入れようとする態度、他者とともに課題に向き合う行動力等を出願書類より評価します。2次審査（面接）では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎学力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

帰国生徒（中国引揚関係者含む）

建学の理念に基づきキャンパスをよりグローバルな教育環境にすることを目的とし、国や地域、多様な価値観を持ち合わせる人々を積極的に受け入れています。総合型選抜の基本方針に加え、海外での多様な経験に基づく力・外国語運用能力等を1次審査（書類審査）・2次審査（面接）で評価します。

キリスト教学校教育同盟

キリスト教学校教育の特色を理解する人々を積極的に受け入れることを目的としています。総合型選抜の基本方針に加え、在籍したキリスト教学校教育同盟校での建学の理念に沿った特色ある学びや活動を通して得た知識や経験を1次審査（書類審査）・2次審査（面接）で評価します。

スポーツ

高等学校において本学が指定するスポーツ活動で優れた能力や実績を持ち、入学後もその活動を通して、本学や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。総合型選抜の基本方針において、それぞれの学群での教育を受けるために必要な基礎学力、および本学が指定するスポーツ活動における能力や実績を評価します。

同窓生徒

建学の理念や教育活動を深く理解・共感する卒業生の子弟を積極的に受け入れることを目的としています。総合型選抜の基本方針に加え、特色ある学びや活動に対する理解度と自らの学生生活における抱負について1次審査（書類審査）・2次審査（面接）で評価します。

キリスト者

キリスト教信仰に根ざして、本学入学後もクリスチャン活動を通して、本学や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。総合型選抜の基本方針において、それぞれの学群での教育を受けるために必要な基礎学力を評価します。加えて、本学の建学の理念に沿った特色ある学びや活動を踏まえて、キリスト者ならではの学生生活における抱負を1次審査（書類審査）・2次審査（面接）で評価します。

グローバル人材育成奨学生

本選抜方式は、桜美林大学の教育目標ならびに各学群が定める「養成する人材等」「アドミッションポリシー」を理解して、グローバルな社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学生選抜です。グローバル人材育成奨学生として合格し、本学での学修活動によって積極的に目標実現を図りたいという意欲のある者に対して、グローバル人材育成奨学金をもって、特別に支援するものです。

探究入試（Spiral）

予測困難な社会の変化に主体的に関わり、自らが関わるコミュニティにおける課題と向き合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることから導入された「総合的な探究の時間」。本入試では、この学習課程（学外等での取り組みも含む）での学びや経験を重視し、予め公開する評価基準に基づき、1次・2次審査で評価します。受験生が探究活動における取り組みについてのプレゼンテーションを行う「探究学習評価型」に加えて、学内外のコンテスト等において優秀な成績を収めた受験生の取り組みを評価するための「ディスカバ！育成型」および「コンテスト活用型」も設けます。

基礎力評価方式

1次審査（基礎力審査）では、高等学校までに身につけた「基礎力（知識・技能）」を中心に評価をします。2次審査（面接）では、出願書類に書かれた内容や意欲・人間性、高等学校までに身につけた「基礎力（知識・技能）」に加え、「思考力・判断力・表現力」についても評価します。

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースにおいては適性検査を行い、航空身体検査の結果を踏まえ、総合的に適正を評価の上、選抜します。

■審査過程における合否判定の方針

総合型選抜は、1次審査（書類審査もしくは基礎力審査）および2次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接、芸術文化学群は実技審査等を含む）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、多面的に審査します。

■総合型選抜「総合評価方式」「グローバル人材育成奨学生選抜」の評価基準と評価の観点

出願書類	問い	評価項目	評価の観点
自己PRシート	①これまでの学びや活動にどのように取り組み、その成功や失敗体験からどのような点を学んだか	学びの基盤となる能力	大学での学びに必要となる能力を持っているか？（思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協働性など）
	②体験から学んだことを、志望する学群での学習や課外活動にどのように活かそうとしているのか	"学而事人"を実現する意欲や適性	あなたのやりたいことが、桜美林大学の「学而事人」の精神や志望学群の求める人材像（アドミッション・ポリシー）に合っているか？ 夢を叶えるための学修・活動計画を、志望学群の学び方や桜美林大学でできることを踏まえて立てられているか？
	③大学卒業後の展望		入学してから、桜美林での成長と活躍を期待できるか？
上記①～③の内容をあわせて評価（活動報告書の記述内容も評価対象）		入学前の経験の「再現性」	これまでの経験について、気づきや成長を振り返れているか？ 自身の夢や、大学の学びに向けた取り組みをしているか？ 入学してからも、「活動と振り返り」を継続していけそうか？
全ての書類をあわせて総合評価		1次総合評価（資質や本学とのマッチング度合いなど）	

■評価補助プロセスにおける評価支援AIの活用について 2026/8/1追加

本学の総合型選抜（総合評価方式・グローバル人材育成奨学生選抜）では、選抜運用の公平性と客観性を高めるため、出願書類の評価補助プロセスに「評価支援AI」を導入しています。
このシステムは、提出された書類を多角的に分析・整理し、人間による多段階評価を補佐するものです。
最終的な合否判定はAIのデータに依存せず、複数の面接官および教職員による合議によって厳格に行います。
なお、ご提出いただいた情報は、外部から遮断された本学専用のセキュアな環境下で適正に管理され、外部の生成AI等の学習に利用されることはありません。また、本選抜における評価・分析のほか、将来の入試制度改善・検証目的に限定して利用され、その他の目的に使用されることはありません。
個人情報の取り扱いについては、法律の専門家（顧問弁護士等）の確認のもと、関係法令に基づき適正に管理いたします。

■各学群における注意事項

リベラルアーツ学群の領域選択について

出願の際に、「人文」「社会」「自然」の3つの領域の中から希望の領域を1つ選択してください。
入学後は、出願時に選択した領域の専門基礎科目を多く履修することとなります。

（出願時に選択した領域から最低10単位、他の2領域からそれぞれ最低4単位ずつ修得することが卒業要件となります。）

※卒業時のメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）は、入学時に選択する領域と異なるものであっても問題ありません。

※出願時に選択した領域によって学校推薦型選抜における課題図書や、一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における受験科目等が異なります。詳細は各募集要項を確認してください。なお、出願時に選択する領域によって合否判定の結果に影響が及ぶことはありません。大学入学後に学びたい領域を選ぶようにしてください。

※インターネットでの出願完了後に志望学群、領域、選抜方式の変更は一切できません。出願時に学群、領域ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

※編入学者選抜で3年次編入を志望する者は、「人文」「社会」「自然」の3つの領域から希望する領域を1つ選択し、あわせて希望するメジャー（主専攻）とマイナー（副専攻）をすべてのプログラム（統合領域含む）から選択してください。なお、メジャーとマイナーは異なる領域から1つずつ選択してください。入学時に選択した領域は入学後に変更できませんが、メジャーとマイナーは入学後に変更することが可能です。

※3年次編入学者の専攻演習（ゼミ）または探究サービスラーニングの選択は入学後となりますが、必ずしも希望する教員の専攻演習または探究サービスラーニングが履修できるとは限りません。

グローバル・コミュニケーション学群の言語トラックについて

グローバル・コミュニケーション学群には「英語」「中国語」「日本語」「トリリンガル」の4つの言語トラックがあります。出願時に学修を希望する言語トラックを1つ選択してください。入学後は、選択した言語を1年次の必修語学科目として学びます。

「トリリンガル」を選択した場合は、1年次に韓国語、2年次に英語または中国語を学びます。2年次に学修を希望する言語も選択してください。（国際学生選抜、編入学者選抜では出願時に「トリリンガル」は選択できません。）

「パブリック・リレーションズ専修」「言語探究専修」「文化共創専修」のいずれかの専修は、2年次に選択します。

※入学後に学修を希望する言語トラックとして第一言語は選択できません。第一言語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

※「トリリンガルトラック（韓国語＋英語または中国語）」の韓国語プログラムは、韓国語をこれから学び始める人や、初級レベルの人を対象とし、在学中に韓国語能力試験（TOPIK）4級の取得を目指しています。既にTOPIK4級以上相当の韓国語力がある場合は、入学後に韓国語の授業を履修できないため、他の言語トラックへ変更となる可能性があります。ご自身の韓国語のレベルを確認の上、上記の対象者のみ、本トラックに出願してください。（2026/8/7 追加）

ビジネスマネジメント学群の領域とプログラム選択について

ビジネスマネジメント学群の各領域は、ビジネスマネジメント学群として一括募集となります。エアラインホスピタリティ留学の希望者は、1年次秋学期以降に行われる選抜に合格する必要があります。

健康福祉学群の専攻選択について

健康福祉学群は、出願の際に「健康科学専攻」「スポーツ科学専攻」「社会福祉学専攻」「精神保健福祉学専攻」「実践心理学専攻」「保育学専攻」から専攻を1つ選択してください。

芸術文化学群の専修選択について

芸術文化学群は、出願の際に「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアル・アーツ専修」から専修を選択します。

航空学群の3コース（航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース）について

航空学群 3コースは、出願の際に現時点で学修を希望するコースを選択してください。この選択は選抜の合否には一切関係しません。

2年次からのコース選抜については1年次終了までに行われる希望調査の結果に原則従いますが、希望するコースに極端な偏りがあった場合は審査を行い、その結果により所属コースが決定します。

4 出願から入学手続までの流れ

STEP 1 出願期間等の日程・出願書類を確認する

入試日程と出願書類の詳細は、各選抜ページをご確認ください。

STEP 2 出願書類を作成・準備する

選抜方式ごとに必要な出願書類が異なります。該当する出願書類のページを確認してください。

STEP 3 「インターネット出願サイト」から出願する

1 事前準備

インターネット環境 インターネットに接続されたパソコン、タブレットを用意してください。接続状況が不安定になる機器ではインターネット出願が完了できない場合がありますので、利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。	**プリンター** 「郵送ラベル」の印刷、「受験票」の印刷（A4サイズ推奨）に必要です。 携帯電話等の画面を使用しての受験票提示は認めません。
顔写真データ インターネット出願時にデータをアップロードしますので、データで準備をしてください。無背景・上半身・脱帽・カラー写真（服装自由）。白黒・加工修正は不可。 ※顔写真データは入学後に学生証として卒業まで使用します。	**メール受信許可** 登録完了後、確認メールを送信します。携帯メールを登録する場合は、送信元（eraku-p.jp、obirin.ac.jp）の受信を許可してください。

2 「インターネット出願サイト」にアクセスしてユーザー登録をする

桜美林大学「受験生サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。
受験生サイト：https://www.obirin.ac.jp/prospective/undergraduate_applicants.html

3 出願内容の登録・確認　※メールで確認

画面の指示に従って　【志望学群・選抜方式を選択 ＞ 個人情報の入力 ＞ 出願内容の確認】　と画面遷移し、各項目に入力してください。

最終画面の「申し込み完了画面」最終ページに、「マイページ」への「ログインID（初回のみ）」と、検定料の「お支払い番号」が表示されますので、忘れないように控えておいてください。

出願登録が完了すると、「【桜美林大学】インターネット出願登録受付・払込票・整理番号通知」のメールが届き、「マイページ」が作成されます。

4 検定料の支払い　※メールで確認

コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料の支払いをしてください。

支払い後、メールが届きますので確認してください。

利用できるクレジットカード

VISA / Mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

利用できるコンビニエンスストア（日本国内のみ）

セブンイレブン / ローソン / ファミリーマート / ミニストップ / デイリーヤマザキ / セイコーマート

※ 検定料のほかに手数料が必要です。

※ 支払期限内に検定料の支払いがなかった場合は、登録情報は無効になります。再度、出願登録が必要です。

※領収書の提出は必要ありません。お手元に保管してください。

※支払い方法でクレジットカードを選択した場合は、登録完了と同時に入金が完了となります。

⚠ 検定料の支払い後は出願内容の変更、検定料の返還が原則できませんので、支払い前に出願内容の確認を必ず行ってください。

5 書類を提出 （オンライン入力＋郵送）

一部の書類は郵送が必要になります。
郵送する書類は、A4サイズの片面で印刷して提出してください。
「インターネット出願サイト」の「マイページ」から「郵送ラベル（A4）」を印刷し、角2封筒（角型2号）に貼付して出願書類を出願期間内に郵便局窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願締切日消印有効）。

[重要] 検定料の支払い、および「オンライン提出書類のウェブ入力」、「[提出を完了する]ボタンを押す」ことを完了していないと「郵送ラベル」は印刷できません。「オンライン提出書類」と「郵送する出願書類」が受理されることで出願完了となります。書類受理の連絡はしていません。書類に不備等があった場合は、本学からメールまたは電話で確認の連絡をいたしますので、受験票発行日まで待ってください。

出願書類の郵送先

〒150-8681　渋谷郵便局留　**桜美林大学入学部**

6 「受験票」の発行・確認・印刷

受験票発行日に、「インターネット出願サイト」の「マイページ」より「受験票」を発行しますので、受験番号等を確認してください。受験票の郵送はしていません。
「受験票」の発行日については各選抜の「出願期間等の日程」で確認してください。
[キャンパス受験の場合]：「受験票」は印刷し、試験日に必ず持参してください（A4サイズ推奨）。
[オンライン受験の場合]：「受験票」は印刷し、試験日に必ず手元に準備してください。

STEP 4 試験を受験する

Step3 ⑥で印刷した「受験票」を必ず用意してください。

STEP 5 合否を「マイページ」より確認する

合格通知の郵送は行っていません。

STEP 6 入学手続（入学金、授業料等の納入）を行う

合格者のみ

「マイページ」の合格通知に掲載している案内に基づき、所定の期日までに入学金、授業料等を納入してください。
入学手続締切後の手続きは一切受け付けません。

問い合わせ先

入学部インフォメーションセンター
TEL：042-797-1583　［平日］9：00～17：00（土・日・祝・大学一斉休暇期間　閉室）
※大学一斉休暇期間：8月10日～8月16日、12月27日～1月6日
メール：info-ctr@obirin.ac.jp

インターネット出願で困ったら「よくある質問」はコチラから！

「お試し入力」のご案内

オンライン入力が必要な出願書類は、出願サイトで「お試し入力」することが可能です。以下のURL（またはQRコード）にアクセスし、[出願登録を開始する]ボタンから進んでユーザー登録の上、「お試し入力」機能をご利用ください。「お試し入力」は、出願期間前から利用可能です。

https://www.eraku-p.jp/erp/obirin/

II 募集内容・出願資格

1 募集学群・募集人員・選抜方法

■ 募集学群・募集人員

学群・専攻・専修・コース		入学定員	募集人員	実施回	
				第1回/第2回	第3回/第4回 （「オンライン」のみ）
リベラルアーツ学群		900人	270人	○	△※3
グローバル・コミュニケーション学群		250人	75人	○	○
ビジネスマネジメント学群		480人	120人	○	―
健康福祉学群	健康科学専攻	300人 （50人※1）	95人 （15人※1）	○	―
	スポーツ科学専攻			○	△※3
	社会福祉学専攻			○	○
	精神保健福祉学専攻			○	○
	実践心理学専攻			○	―
	保育学専攻			○	○
芸術文化学群	演劇・ダンス専修	400人	170人	○	○
	音楽専修			○	○
	ビジュアル・アーツ専修			○	―
教育探究科学群		150人	55人	○	○
航空学群	フライト・オペレーション （パイロット養成）コース	40人	15人	第1回のみ※2	―
	航空管制コース 航空機管理コース 空港管理コース	100人	40人	○	○
合計		2,620人	840人		

※1　（）内の数字は、保育学専攻の入学定員・募集人員を内数として表示。

※2　航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースについてはP.55を確認してください

※3　総合評価方式（特別枠　スポーツ）のみ、第3回/第4回日程でも募集を行う場合があります。

■ 選抜方法

選抜方法は選抜方式により異なります。詳細は各選抜方式の該当ページを確認してください。

選抜方式		専願・併願の種別	実施回		該当ページ
			第1回/第2回	第3回/第4回（「オンライン」のみ）	
総合評価方式※1		専願 もしくは併願※2	○	○	P.23
総合評価方式【特別枠】	帰国生徒	専願 もしくは併願	○	—	P.26
	キリスト教学校教育同盟	専願 もしくは併願	○	—	P.26
	スポーツ※1	専願のみ	○	○	P.29
	同窓生徒	専願のみ	○	—	P.32
	キリスト者	専願のみ	○	—	P.35
グローバル人材育成奨学生選抜		専願のみ	第1回のみ募集	—	P.38
探究入試（Spiral）	探究学習評価型※3	専願 もしくは併願	○	—	P.43〜
	ディスカバ！育成型※1	専願 もしくは併願※2	○	○	
	コンテスト活用型	専願 もしくは併願	○	—	
基礎力評価方式		専願 もしくは併願	○	—	P.50※4

※ 同一実施回で複数の選抜方式を出願することはできません（各回1方式1出願のみ）。

※1　第3回、第4回日程での募集がない学群もあります。P.14の（募集学群）を確認してください。

※2　第3回、第4回日程は、専願のみ募集します。

※3　芸術文化学群、航空学群3コースでは探究入試（Spiral）探究学習評価型の募集はありません。

※4　航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースについてはP.55を確認してください。

重要

専願・併願について

総合型選抜の各選抜方式により、「専願」と「併願」があります。いずれかを選択のうえ出願してください。

① 専願… 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

② 併願… 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

面接・実技試験の実施方法について

選抜方式により、「キャンパス」もしくは「オンライン」いずれかをインターネット出願時に選択できます。実施方法の選択は合否に一切関係ありません。

なお、第3回、第4回は「オンライン」のみとなります。(「キャンパス」は選択できません。)

「キャンパス」を選択した場合、試験会場を出願期間等の日程で確認してください。

「オンライン」を選択した場合、自宅等で受験ができますが、指定期間内に事前接続テストの参加が必須です。(本学キャンパスに来校してオンライン受験はできません。)

オンライン面接試験事前接続テストについて

「オンライン」を選択した場合、「オンライン面接事前接続テスト」の参加が必須となります。オンライン面接を受験する同じ場所、同じ環境で行ってください。

「完了報告」が確認できない場合、試験を受験できないことがありますので注意してください。

① 接続テスト期間中の都合の良い時間に、受験票に記載のあるURLへアクセス。(所要時間は10分程度です。)

② 試験当日の流れについて確認するとともに、音声・映像等に問題がないことを確認してください。

③ 所定のURLより「オンライン面接事前接続テスト」の完了報告を行う。

※詳細は受験票発行日に受験票にてお知らせします。

2 出願資格

リベラルアーツ学群

グローバル・コミュニケーション学群

ビジネスマネジメント学群

健康福祉学群

芸術文化学群

教育探究科学群

航空学群 3コース（航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コース）

出願資格1を満たす者

出願資格1：次の各号のいずれかに該当する者、または2027年3月31日までに該当する見込みのある者。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧★1］又は研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧★2］の課程を修了する必要がある。）

＊「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験（アメリカ合衆国のGED test等。）に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］又は研修施設［文部科学大臣指定研修施設一覧］の課程を修了する必要がある。）

＊合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧★3）を修了した者
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧★4）を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程［文部科学大臣指定準備教育課程一覧］を修了する必要がある。）
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設［高等部を設置するもの］一覧★5）の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧★6）を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベルを保有する者
11. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について★7）の12年の課程を修了した者

＊CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。

12. 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者

（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）

13. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

＊上記13で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続が必要です。詳しくは、P.74を確認してください。

★1 文部科学大臣指定準備教育課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm

★2 文部科学大臣指定研修施設一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm

★3 文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm

★4 我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm

★5 文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm

★6 文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm

★7 国際的な評価団体認定外国人学校について

www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

⚠ 航空管制官になるためには日本国籍を有すること、また身体検査が課されます。航空管制官を目指す者は、各自で検査を受診する等、条件の確認を行うことを推奨します。

⚠ 「トリリンガルトラック（韓国語＋英語または中国語）」の韓国語プログラムは、韓国語をこれから学び始める人や、初級レベルの人を対象とし、在学中に韓国語能力試験（TOPIK）4級の取得を目指しています。既にTOPIK4級以上相当の韓国語力がある場合は、入学後に韓国語の授業を履修できないため、他の言語トラックへ変更となる可能性があります。ご自身の韓国語のレベルを確認の上、上記の対象者のみ、本トラックに出願してください。（2026/8/7 追加）

⚠ 上記各号の出願資格はすべての選抜方式で認められているわけではありません。選抜方式の主旨に照らしあわせ、一部出願資格を定めていない選抜方式もあります。また、固有の出願条件を定める選抜方式もありますので各選抜の詳細ページを確認してください。

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

出願資格1および2を満たす者

出願資格2：

以下①～③のすべての条件を満たす者

① 2026年5月1日以降に本学の指定医療機関（下記 航空身体検査　指定医療機関一覧）において航空身体検査を受診し、「第1種相当」に適合と診断された証明書の写し（コピー）を出願書類として提出できる者。

② オルソケラトロジー（レーシック、PRKとは異なります）による矯正を行っていないこと。

③ 以下（1）～（11）いずれかの資格を有する者（対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験したものであること。）

（1）実用英語技能検定2級以上または1980点以上※1

（2）ケンブリッジ英語検定 140点以上※2

（3）GTEC 930点以上※3

（4）TOEIC® L&R 550点以上※4

（5）TOEIC® L&RおよびS&W 790点以上※4

（6）TOEIC Bridge L&R 84点以上※4

（7）TOEIC Bridge L&RおよびS&W 170点以上※4

（8）TOEFL iBT® 42点以上※5

（9）IELTS™ 4.0以上※6

（10）TEAP 225点以上

（11）TEAP CBT 420点以上

※1 「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。

※2 受験した各試験種別［ファースト（FCE）等］の合格・不合格は問わない（スコアのみを合否判定に採用）。Linguaskillは不可。

※3 「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

※4 IP（Institutional Program）は不可。

※5 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。My Best™ Scores、ITP（Institutional Testing Program）は不可。2026年1月21日以降に受験した新スコア形式（1.0～6.0のバンドスコア）でも出願可能です。スコアレポートに併記される旧スコア（0～120点）の数値を確認して出願してください。

※6 IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア（アカデミック・モジュールに限る）。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

■航空身体検査 指定医療機関一覧

医療機関での受診は例年大変混みあいます。そのことから上記受診期限に間に合うよう受診の予約は早めに行うようにしてください。なお、受診期限を過ぎた場合には原則出願できなくなりますが、別途相談してください。

［指定医療機関での受診期限］：2026年5月1日（金）～8月31日（月）

地区	都道府県	医療機関名	所在地	電話番号
関東	東京	医療法人社団東翔会 永田町つばさクリニック	〒102-0093 東京都千代田区平河町2－6－4 海運ビル2階	03-3511-2839
	東京	宮入内科	〒100-0006 東京都千代田区有楽町2－10－1 東京交通会館3階	03-3211-4845
	東京	医療法人財団 圭友会小原病院	〒164-0012 東京都中野区本町3-28-16	03-3372-0311
近畿	兵庫	医療法人社団東翔会 立山内科医院	〒664-0882 兵庫県伊丹市鈴原町8－67	072-781-1801

地区	都道府県	医療機関名	所在地	電話番号
九州	福岡	一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	〒802-8555 福岡県北九州市小倉北区浅野3－2－1	093-511-2000

※いずれの医療機関も受診可能人数が限られます。受診の予約は早目に行うようにしてください。

※いかなる理由でも指定医療機関以外の受診は認めません。

3 課題図書

リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、航空学群3コースでは2次審査にて課題図書の内容理解度を問う面接を行います。2次審査受験前までに熟読しておいてください。基礎力評価方式（全学群）・総合評価方式フライトオペレーション（パイロット養成）においては、課題図書を課しません。

学　群	課題図書
リベラルアーツ学群 3領域共有	『論理的思考とは何か』渡邉雅子（岩波新書 新赤版 2036／ISBN:9784004320364）
グローバル・コミュニケーション学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『外国語をはじめる前に』黒田龍之助（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480688835） ②『Animal Farm』George Orwell（Penguin Books／ISBN:9780141036137） 面接時、課題図書の内容は、選んだ本が書かれている言語で質問をします。 ※探究入試（Spiral）では、課題図書を課していません。
ビジネスマネジメント学群	『知的複眼思考法―誰でも持っている創造力のスイッチ』苅谷剛彦（講談社／ISBN:9784062566100）
健康福祉学群	下記2冊から1冊選択のこと ①『長生きできる町』近藤克則（角川新書／ISBN:9784040822235） ②『なぜ人と人は支え合うのか』渡辺一史（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480683434）
航空学群3コース	『君たちはどう生きるか』吉野源三郎（岩波文庫／ISBN:9784003315811）
芸術文化学群	※芸術文化学群では、「課題図書型」を選択した場合のみ、課題図書が課されます。 出願する専修によって課題図書が異なります。 ＜演劇・ダンス＞　下記2冊から1冊選択のこと ①『身体が生み出すクリエイティブ』諏訪正樹（ちくま新書／ISBN:9784480071248） ②『人はなぜ物語を求めるのか』千野帽子（ちくまプリマー新書／ISBN:9784480689795） ＜音楽＞『音楽の危機-《第九》が歌えなくなった日』岡田暁生（中公新書／ISBN:9784121026064） ＜ビジュアル・アーツ＞『デザインのめざめ』原研哉（河出文庫／ISBN:9784309412672）

※教育探究科学群の課題図書はありません。

4 総合型選抜

■ 出願期間等の日程（第１回、第２回）

		（第1回）総合評価方式（特別枠含む）／グローバル人材育成奨学生選抜／探究入試（Spiral）	（第2回）総合評価方式（特別枠含む）／探究入試（Spiral）
インターネット出願	出願登録	9月1日（火）～9月10日（木）	10月9日（金）～11月12日（木）
		最終日は正午（12時）まで	
	検定料支払期限	9月10日（木）	11月12日（木）
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は、検定料の支払い、および「オンライン提出書類」の提出が完了した後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。	
	出願書類提出期限	9月10日（木） 消印有効	11月12日（木） 消印有効
		出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間について、注意してください。	
1次審査（書類審査）	1次受験票発行開始日	9月18日（金）	11月17日（火）
		15時から順次発行	
	1次合格発表日	10月16日（金）	12月4日（金）
		合否照会は10時から可能です。	
		2次審査（1次審査合格者のみ）の集合時間等の詳細は、2次受験票で確認してください。	
2次審査（書類・面接等の総合審査）	2次受験票発行開始日	10月16日（金）	12月4日（金）
		15時から順次発行	
	オンライン面接試験事前接続テスト※1（オンライン選択者のみ参加必須）	**10月20日（火）9:00～10月21日（水）17:00**	**12月8日（火）9:00～12月9日（水）17:00**
		都合の良い時間にアクセスしてテスト実施（所要時間約10分程度）	
	試験日（キャンパス・オンライン共通）	**10月24日（土）：** ビジネスマネジメント学群、芸術文化学群	**12月12日（土）：** すべての学群
		10月25日（日）： リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース	
	キャンパス選択者試験会場	**［新宿キャンパス］**：ビジネスマネジメント学群 **［東京ひなたやまキャンパス］**：芸術文化学群 **［町田キャンパス］**：リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース	**［東京ひなたやまキャンパス］**：芸術文化学群 **［町田キャンパス］**：リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース
	2次合格発表日	11月2日（月）	12月18日（金）
		合否照会は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知を確認できます。	

		（第1回）総合評価方式（特別枠含む）／グローバル人材育成奨学生選抜／探究入試（Spiral）	（第2回）総合評価方式（特別枠含む）／探究入試（Spiral）
入学手続締切日	専願	11月13日（金）	2027年1月8日（金）
		一括納入（入学金および春学期納入金）	
	併願（1次）	11月13日（金）※2	1月8日（金）※2
		（入学金）	
	併願（2次）	2027年2月24日（水）	2月24日（水）
		（入学金以外の春学期納入金）	

■ 出願期間等の日程（第3回、第4回）

		（第3回）総合評価方式（スポーツ枠含む）／探究入試（Spiral）ディスカバ！育成型のみ（「オンライン」のみ）【専願のみ募集】	（第4回）総合評価方式（スポーツ枠含む）／探究入試（Spiral）ディスカバ！育成型のみ（「オンライン」のみ）※3※4【専願のみ募集】
インターネット出願	出願登録	11月17日（火）～12月8日（火）	2026年12月22日（火）～2027年2月18日（木）
		最終日は正午（12時）まで	
	検定料支払期限	12月8日（火）	2月18日（木）
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は、検定料の支払い、および「オンライン提出書類」の提出が完了した後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。	
	出願書類提出期限	12月8日（火） 消印有効	2月18日（木） 消印有効
		出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間について、注意してください。	
審査	受験票発行開始日	12月22日（火）	3月4日（木）
		15時から順次発行	
	オンライン面接試験事前接続テスト※1（参加必須）	**2027年1月7日（木）9:00～1月8日（金）17:00**	**3月8日（月）9:00～3月9日（火）17:00**
		都合の良い時間にアクセスしてテスト実施（所要時間約10分程度）	
	試験日（オンラインのみ、一括審査）	**1月9日（土）**	**3月10日（水）**
	合格発表日	1月15日（金）	3月15日（月）
		合否照会は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知を確認できます。	
入学手続締切日	専願	1月22日（金）	3月17日（水）
		一括納入（入学金および春学期納入金）	

※1 〈オンライン面接試験事前接続テスト〉「オンライン」を選択した1次審査合格者は、「オンライン面接接続テスト」を事前に行います。テストの詳細は受験票にてお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2 1次入学手続を期日までに行わなかった場合、その後の入学手続はできません。入学の意思がないものとみなします。
※3 総合型選抜（第4回）と、一般選抜（後期）の併願はできません。
※4 総合型選抜（第4回）出願時に在留資格を持っていない者は、出願できません。

A 総合評価方式（第1回・第2回・第3回・第4回）

専願 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：なし

■選抜方法

総合評価方式	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	書類審査
2次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群 航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・航空学群3コースは英語による質問もします。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6 グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 出願期間等の日程

詳細は、P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）を確認してください。

■出願書類

- オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
- 提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

B 帰国生徒（第1回・第2回）／キリスト教学校教育同盟（第1回・第2回）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願　他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格 9、12を除く）に該当する者。

出願条件：以下の選抜ごとの出願条件において、いずれかに該当する者。

〈帰国生徒〉

ⅠまたはⅡのいずれかの条件に該当する者。

Ⅰ：以下のすべての条件に該当する者。

①　日本国籍を有する者、あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格を有する者。

②　日本国籍あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格取得後に、在外教育施設（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/002/001.htm）を除く外国の学校（日本の初等中等教育にあたる学校：日本における小学校～高校までの12年間の課程）において、1年度以上の学校教育を受けた者。

Ⅱ：中国引揚者の子女で以下のすべてに該当し、大学入学資格を有する者。

①　日本国籍を有する者、あるいは日本の「永住者」「定住者」の在留資格を有する者。

②　保護者（父母・祖父母）が1945年9月2日以降も引き続き中国に居住していた中国引揚げ者であること。

③　日本の学校教育制度にあたる中学校（中等教育前期課程）以上に入学していること。

〈キリスト教学校教育同盟〉

キリスト教学校教育同盟加盟高等学校を卒業した者又は卒業見込の者。加盟校は www.k-doumei.or.jp/ で確認してください。

■選抜方法

帰国生徒／キリスト教学校同盟	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	書類審査
2次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群 航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・航空学群3コースは、英語による質問もします。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（出願書類と課題図書）を確認してください。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	－	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	－	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・漢語水平考試（HSK）、中国語検定試験（中検） ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	ー	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
原本郵送	外国の学校で一年度間以上の学校教育を受けたことを証明する書類 （該当者のみ）	任意様式	帰国生徒選抜方式の出願者のうち、出願条件Ⅰに該当する者のみ。様式は任意。日本語、英語表記以外の書類の場合は日本語訳を添付してください。
コピー/原本（ともに郵送）	引揚証明書のコピーおよび戸籍謄（抄）本 （該当者のみ）	ー	帰国生徒選抜方式の出願者のうち、出願条件Ⅱに該当する者のみ。「引揚証明書」は保護者の方が帰国した際に国から発行されている証明書です。引揚者の方と本人との関係を証明するため「戸籍謄（抄）本」もあわせて提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

C スポーツ（第1回・第2回・第3回・第4回）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格9、13を除く）に該当する者。

出願条件：以下の出願条件すべてに該当する者。

①　これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

②　以下のア）イ）両方を満たす者

ア）高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）在籍中の調査書の全体評定平均値が出願時点で3.0以上あり、かつスポーツマンらしく好感が持て、入学時から本学の定めた成績の一定基準（入学時からの通算GPA※1.5以上）を卒業まで維持できる見込みのある者。

※GPAとはGrade Point Averageの略称で成績評価を示します（最高値は4.0）。

イ）当該クラブにおいて、どのように活動したいかを十分に認識しており、桜美林大学の活力向上に貢献したいと強く考えている者。

③　各クラブにおけるセレクション等を通過していること。

なお、セレクションの日程等詳細については本学スポーツ推進センターのホームページ www.obirin.ac.jp/sports/section/ を確認してください。

■選抜方法

スポーツ	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	書類審査
2次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群 航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・航空学群3コースは、英語による質問もします。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6 グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）を確認してください。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	ー	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

D 同窓生徒（第1回・第2回）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：以下の出願条件すべてに該当する者。

① 本人および3親等以内に桜美林幼稚園、桜美林中学校、桜美林高等学校、桜美林短期大学（短期大学部を含む）、桜美林大学、桜美林大学大学院のいずれかに、卒園者・卒業者・修了者または在学者がいる者。

② これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

■選抜方法

同窓生徒	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	書類審査
2次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群 航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・航空学群3コースは、英語による質問もします。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）を確認してください。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。

・同窓生徒情報は、出願時に出願サイト上で入力いただきます。

・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書（外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

E キリスト者（第1回・第2回）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：以下の出願条件すべてに該当する者。

① 本学においてキリスト教関連の活動を積極的に取り組める者。

② これまでの学業の成果や文化・芸術・スポーツ・技術・技能等を含むさまざまな課外活動の成果と経験を、大学4年間の学修活動に活かしたい等の意欲と自身が志す分野で幅広く国際人として活躍したいと明確な目標を持ち、本学で学ぶことを強く希望していること。

■選抜方法

キリスト者	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	書類審査
2次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群 航空学群3コース	1.書類審査 2.面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。 ・教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・航空学群3コースは、英語による質問もします。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.面接（約20分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。
	芸術文化学群	1.書類審査 2.面接または実技審査・作品審査 ・審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）を確認してください。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。

・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
ウェブ入力	キリスト教活動申告書	7	
原本郵送	受洗証明書		所属する教会の牧師または司祭に発行を依頼してください。発行・証明者の署名捺印が必要です。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

F グローバル人材育成奨学生選抜（第1回のみ募集）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

■募集人員

学群	グローバル人材育成奨学生選抜
リベラルアーツ学群	5人程度
グローバル・コミュニケーション学群	5人程度
ビジネスマネジメント学群	5人程度

＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者が本選抜へ出願する場合、入学後、学修する主たる言語は英語のみとなります。

＊健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群および航空学群は本奨学金制度の対象外です。

■ 本選抜方式の趣旨

本選抜方式は、桜美林大学の教育目標ならびに各学群が定める「養成する人材等」「アドミッションポリシー」を理解して、グローバルな社会において貢献できる人材を育成することを目的とした奨学生選抜です。グローバル人材育成奨学生として合格し、本学での学修活動によって積極的に目標実現を図りたいという意欲のある者に対して、グローバル人材育成奨学金をもって、特別に支援するものです。

■ 奨学金について

1. 奨学金（給付）

①語学力向上支援金として各学期100,000円給付（3.継続条件を満たした場合、修業年限内最大で4年間給付）

②渡航支援費として留学出発後750,000円を給付（2.奨学生の前提条件②の留学プログラムに参加することが給付条件）

2. 奨学生の前提条件

入学後、以下の①～②の2つのプログラムを必ず履修、参加することが本奨学金制度を受ける条件となります。
また、以下の③～⑨の点について、必ず確認し、了解のうえ、出願してください。

①1セメスター※から3セメスターまで大学が指定する語学プログラムを履修すること。

②4セメスターと5セメスターに大学が指定する長期交換留学プログラム（英語圏）に参加すること。

③留学に関する所定の事前・事後学習に参加すること。

④健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群および航空学群は本奨学金制度の対象外です。

⑤グローバル人材育成奨学生として入学した場合は、リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群のグローバル・アウトリーチプログラムには参加することができません。

⑥グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群に入学したグローバル人材育成奨学生は、各学群等で参加必須となっている留学プログラムではなく、前記②の留学プログラムに参加することになります。

⑦本学で取得できる資格（主に国家資格にあたる教育職員免許状、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、保育士など）の取得を目指す教育課程を希望する場合、標準修業年限（4年間）内に卒業できない可能性があります。

⑧グローバル人材育成奨学生の身分である期間は、原則休学は認められません。

⑨奨学生の継続条件として、語学の技能審査（スコア）を求めますが、それにかかる費用は個人負担となります。

※セメスター：本学では半年間の学期ごとに授業を完結し、単位を修得するセメスター制度（2学期制）を採用しています。1年次春学期（1セメスター）、秋学期（2セメスター）、2年次春学期（3セメスター）、秋学期（4セメスター）、3年次春学期（5セメスター）、秋学期（6セメスター）、4年次春学期（7セメスター）、秋学期（8セメスター）となります。

3. 継続条件

セメスターごと（留学期間を除く）に継続審査を行います。グローバル人材育成奨学生の継続条件は以下の通りです。

①入学時からの通算GPA※が2.8以上であること。

※GPAとはGrade Point Averageの略称で成績評価を示します（最高値は4.0）。

②セメスターごとに大学が定めた入学時からの累計修得単位数の基準を満たすこと。

③所定の留学プログラム申請時（2セメスター）にTOEFL iBT® 61点またはIELTS™ 5.5以上のスコアを取得すること。

④3セメスター以降、大学が定めた英語スコアを取得すること（8セメスター終了時の目標スコアは、TOEFL iBT® 89点、IELTS™ 6.5、TOEIC® L&R 800点）。

⑤各セメスター終了時に、修学状況報告書を提出すること。

詳細は、グローバル人材育成奨学生選抜に合格後、書面にてお知らせします。

4. 他の奨学金との併給

・高等教育修学支援新制度等の学外の経済的支援制度との併給は可能です。
・年額100,000円以上の学内奨学金との併給は不可です（ただし、学群奨学金、研究科奨学金および災害による緊急の支援金等はこの限りではありません）。

■ 合否判定の基準等

１）下記の基準に照らし、確かな学修意欲と資質を備え、将来の活躍に向けた計画性を有しており、グローバルな社会において貢献できる人材と判定できた者を「グローバル人材育成奨学生」としての合格とします。

・英語力があり、学修意欲が明確な者と判断され、人間性においても他の学生の模範となり得ること。
・調査書における全体の評定平均値が良好であり、外国語の他、主要教科（国語・数学・理科・地理歴史・公民）の学力が担保され、外国語で学び続けようとする意志を強く持っていること。

2）「グローバル人材育成奨学生」としての本奨学金給付の対象者にはならないが、以下の資質等が確認できた者は、総合型選抜総合評価方式の「合格者」とします。入学手続を行うか否かは任意です。

・学修意欲が確認でき、かつ将来の活躍に向けた計画も明確に有しており、本学の模範学生になり得る資質が潜在的にある者、もしくは2年次以降の学修活動の成果が大いに期待できる者で、2年次以降は本奨学金以外の「奨学金」の給付対象となり得る可能性がある者。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：以下のいずれにも該当する者。

①P.38（奨学金について　2．奨学生の前提条件）の①、②のプログラムを必ず履修、参加する意思がある者。

②以下のいずれかの英語資格・検定試験のスコア・級を有する者。

＊いずれも対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験し取得した級・スコアが有効です。

（1）実用英語技能検定 2級以上または1980点以上※1
（2）ケンブリッジ英語検定 140点以上※2
（3）GTEC 930点以上※3
（4）TOEIC® L&R 550点以上※4
（5）TOEIC® L&RおよびS&W 790点以上※4
（6）TOEFL iBT® 42点以上※5
（7）IELTS™ 4.0以上※6
（8）TEAP 225点以上
（9）TEAP CBT 420点以上

※1「従来型」「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む。実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可。

※2 受験した各試験種別［ファースト（FCE）等］の合格・不合格は問わない（スコアを有する者）。Linguaskillは不可。

※3「GTEC」CBTタイプ、「GTEC」検定版を含む。4技能のオフィシャルスコアに限る。

※4 IP（Institutional Program）は不可。

※5 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。My Best™ Scores、ITP（Institutional Testing Program）は不可。2026年1月21日以降に受験した新スコア形式（1.0～6.0のバンドスコア）でも出願可能です。スコアレポートに併記される旧スコア（0～120点）の数値を確認して出願してください。

※6 IELTSは証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア（アカデミック・モジュールに限る）。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

■選抜方法

グローバル人材育成奨学生	学群	選抜方法・審査方法
１次審査	すべての学群※	書類審査
２次審査	リベラルアーツ学群 ビジネスマネジメント学群	1.書類審査 2.日本語および英語による面接（約20～25分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者1～4人で実施します。
	グローバル・コミュニケーション学群	1.書類審査 2.日本語および英語による面接（約20～25分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・面接は受験者1人、面接担当者2～4人で実施します。面接方法はP.58（Ⅱ.6グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。

※健康福祉学群、芸術文化学群、教育探究科学群および航空学群を除く。

■審査過程における合否判定の方針

本選抜は、1次審査（書類審査）および2次審査（課題図書の内容理解度を問う口答試問を含む面接）を行い、各審査の内容をもとに総合的な審査のうえ合否判定を行います。各審査では、入学志願者の能力・適性や学修に対する意欲、目的意識等を総合的に評価します。グローバル社会で活躍したいという熱意、グローバル教育を受けるにふさわしい潜在力を支援する奨学金であることから、意欲や将来性まで多面的に審査します。

なお、出身高等学校等の調査書については、全体のみならず個々の教科の評定平均値の他、特別活動の状況、特技や部活動、ボランティア活動等を学群別アドミッションポリシーと照らしあわせて、審査します。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）を確認してください。

■出願書類

- オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
- 提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	自己PRシート	2	
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	出願条件を満たす語学資格等の証明書	―	
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書（外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	ー	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

G 探究入試（Spiral）（第1回・第2回、ディスカバ！育成型のみ募集学群限定で第3回・第4回）

専願 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：以下のいずれかの経験がある者。

① 高等学校もしくは中等教育学校の教育課程内の授業等において探究活動（課題研究）に取り組み、発表実績がある者。

② 教育課程外で探究活動に取り組み、発表実績がある者。課題研究、部活動、委員会活動、課外活動、自主活動など、活動の形式は問いません。

※「ディスカバ！育成型」および「コンテスト活用型」については、上記の条件を満たしたうえで、本学が認定したディスカバ！プログラムで対象学群の認定書を取得していることや学外のアワード型プログラム等で優秀な成績を収めたことが出願条件となります。

※本学認定のプログラムについては、本学ホームページから確認してください。

https://www.obirin.ac.jp/admissions/undergraduate/admissions-office/inquiry/#04

■選抜方法

※表外の「プレゼンテーションの実施方法について」および「その他審査に関する共通注意事項」も必ず確認してください。

探究入試（Spiral）	学群	審査	選抜方法・審査方法
探究学習評価型	リベラルアーツ学群 グローバル・コミュニケーション学群 ビジネスマネジメント学群 健康福祉学群 教育探究科学群	１次	書類審査
		２次	面接約20分（教育探究科学群は約15分）。 ・探究学習に関するプレゼンテーション（5分程度） ・ プレゼンテーションと出願書類をベースとした質疑応答を約15分程度（教育探究科学群は約10分）。課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・グローバル・コミュニケーション学群、教育探究科学群は、課題図書を課しません。

探究入試（Spiral）	学群	審査	選抜方法・審査方法
ディスカバ！育成型 コンテスト活用型	すべての学群（航空学群フライト・オペレーションコースは除く）	１次	免除（出願書類は提出が必要です）。 詳細はP.45（出願書類　探究入試（Spiral））で確認してください。
		２次	面接約20分（教育探究科学群は約15分）。 芸術文化学群の審査方法は専修、審査方式によって異なります。詳細はP.61（Ⅱ.7芸術文化学群の審査方法）で確認してください。 ・探究学習に関するプレゼンテーション（5分程度） ・ プレゼンテーションと出願書類をベースとした質疑応答を約15分程度（教育探究科学群は約10分）。課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。 ・グローバル・コミュニケーション学群、教育探究科学群は、課題図書を課しません。 ・芸術文化学群では、プレゼンテーションの実施はありません。 ・航空学群3コースは、英語による質問もします。

■プレゼンテーションの実施方法について※1

キャンパス（対面審査）	以下、いずれかの手段で発表（5分間）※電子機器の利用は不可 ・提出済みの出願書類の内容に基づき口頭のみで発表（原稿持ち込み可）※2 ・紙資料を持参し、教員面接担当者に配布したうえで発表（その場合、発表用に資料を3部持参）※3
オンライン	以下、いずれかの手段で発表（5分間） ・提出済みの出願書類の内容に基づき口頭のみで発表（原稿使用可）※2 ・ZOOMの画面共有機能を用いて資料を共有しながら発表※4

※1 プレゼンテーションの内容は、ディスカバ!育成型の場合は「Spiral認定証」を得たプログラム、コンテスト活用型の場合は「所定の成績を収めた本学指定のプログラム」の活動に関するものとしてください。また、活動を進めるにあたり自身が（グループ活動であった場合にはグループが）、何に苦労し、どうやって乗り越えたのか、そこでの学びを大学生活や将来にどう活かしていきたいかについて、活動の概要と共に具体的に説明してください。

※2 原稿とは、提出済みの出願書類そのもの（提出した控え）を指します。原稿に書き込み・加筆・修正を加えたものや、新たに作成したメモ（いわゆるカンペ）は原稿とは認められず、使用できません。（2026/11/5追記）

※4 画面共有で発表する場合は、共有している資料を見ながら発表してください。発表者ツール（PowerPointの発表者ビューなど）のノートや、手元・別の画面に用意したメモ（いわゆるカンペ）は使用できません。（2026/11/5追記）

※3 必ずしも資料を用意する必要はありません。資料の有無は合否に関係ありません。
「対面」で2次審査を受験し、配布資料を用意する場合は、以下の案内に沿ってください。

・資料はA4用紙片面2枚以内にまとめてください。タテ書き、ヨコ書きは不問です。
・資料は計3部準備してください。（自身用に1部、面接担当者用に2部）
・資料は自身用と面接担当者用に同じ内容のものを準備してください。自身用に書き込み・加筆・修正を加えたもの（いわゆるカンペ）は認められず、使用できません。（2026/11/5追記）
・資料の左上に氏名、受験番号、テーマを明記してください。
・図や表、グラフ、写真、箇条書き等、見やすくなるよう工夫してください。白黒、カラー、どちらでも構いません。
・提示する情報が引用である場合は、その出典を明記してください。オリジナルの図や表を作成しても構いません。
・資料の説明をしながら口頭で発表してください。

■その他審査に関する共通注意事項

・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。
・グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、入学後に学修を希望する言語トラックの言語を使った面接も行います。
・航空学群 3コースは英語による質問もします。

■ 出願期間等の日程

P.21～（出願期間等の日程）で確認してください。

■課題図書

詳細はP.20（課題図書）で確認してください。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

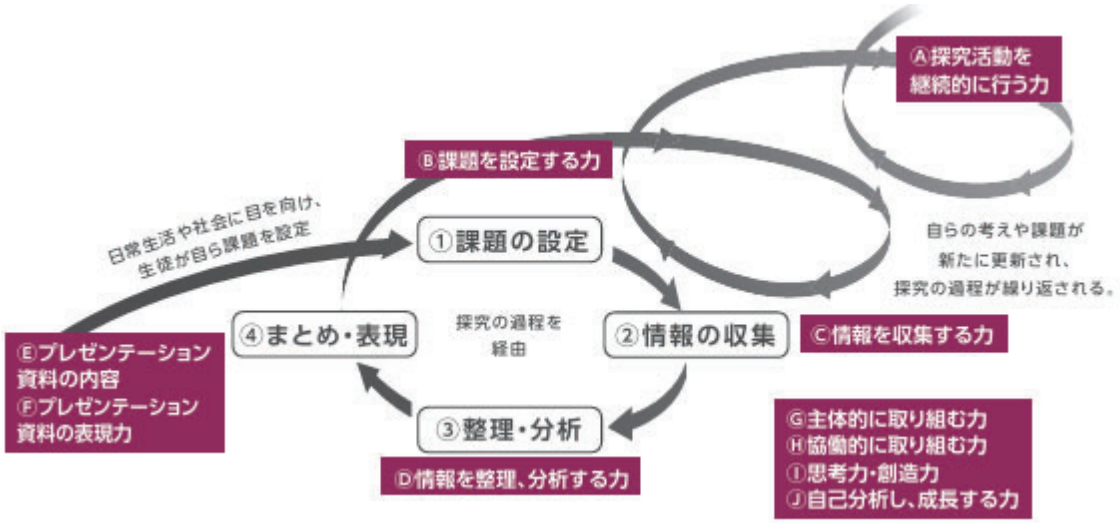
提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	探究学習報告書	6	ディスカバ！育成型の出願者は様式内の1.探究学習テーマに、「Spiral認定証」を得たプログラム内容を記載してください。コンテスト活用型の出願者は、様式内の1.探究学習テーマには、本学指定のコンテスト活用型プログラム内容を記載してください。別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。 CD,DVD,USBその他外部記録媒体での提出はできません。
原本郵送	探究学習の成果物	―	探究学習報告書の1.探究学習テーマに記入した探究学習の成果物として「論文」、「発表の記録（ポスターやプレゼンテーション資料）」、「実験成果（ラボノートなど実験で作成、利用した資料）」等を提出してください（複数資料提出可）。資料や提出物は返却しませんので、重要な資料等はコピーを提出してください。 ※芸術文化学群のディスカバ！育成型志願者は、事後課題を成果物として提出してください。 ※芸術文化学群のコンテスト活用型志願者は、成果物の提出は不要です。（2026/8/7 追加）
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK）、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等 ・ハングル能力検定試験 過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
コピー郵送	本学が認定するディスカバ！プログラムで所定の成績を収めたことを証明する書類	―	＜ディスカバ！育成型の出願者は提出してください＞ 本学が認定するプログラムにおいて、所定の成績を収めたことを証明する書類（「Spiral認定証」）を提出してください。本学の認定プログラムについては、ホームページから確認してください。※3
コピー郵送	本学が認定する学外のコンテスト活用型プログラム等で所定の成績を収めたことを証明する書類	―	＜コンテスト活用型の出願者は提出してください＞ 本学が認定するプログラムにおいて、所定の成績を収めたことを証明する書類を提出してください。本学の認定プログラムについては、ホームページから確認してください。※3
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	―	＜外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください＞在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

※3 https://www.obirin.ac.jp/admissions/undergraduate/admissions-office/inquiry/#04

◆探究入試（Spiral）評価視点



項目	学習目標	身に付く力
「総合的な探究の時間」学習指導要領の目標に基づく	1. 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に着け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	A. 探究活動を継続的に行う力
	2. 実社会や実生活と自己との関わりから「問い」を見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理、分析して、まとめ、表現することができるようにする。	B. 課題を設定する力 C. 情報を収集する力 D. 情報を整理、分析する力 E. プレゼンテーション資料の内容 F. プレゼンテーション資料の表現力
	3. 探究に主体的、協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	G. 主体的に取り組む力 H. 協働的に取り組む力
	4. 思考力、判断力、表現力等の育成。	I. 思考力・創造力
大学独自	探究の学習プロセスを通して、振り返りを重ね、時として自己成長のために改善することを容認し、実行できる力を養う。	J. 自己分析し、成長する力

◆探究入試（Spiral）評価項目と「問い」

出願書類	評価項目		具体的な評価ポイント
探究学習報告書	1.探究テーマ2-①. 探究学習のテーマを設定するに至った背景	B. 課題を設定する力	・探究学習で最も重要とされる「問い」を立てるに至る理由と、その「問い」に対してどのような探究学習や活動が行われたのか？ ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出せているかが基本評価。次に、学習サイクルを経て、自ら課題設定できているか？また、影響範囲の大きな課題になっているか？ ・探究学習の過程を通して、自分自身が既に持っている知識や経験、または必要に応じて新たに加えた知識、経験、情報をもとに、答えを導き出すことができているか？ ・課題の発見や解決のために、これまでの知識や技能を活用するだけでなく、必要に応じて新たな知識や技能を修得することができているか？
	2-②. どのような活動を行い、どのような結果や学びが得られたか	G. 主体的に取り組む力	・他の誰かではなく、自分が主体となって取り組んだことは何か？ ・たとえきっかけを他人から与えられたとして、課題を自分ごととして捉えられるようになった理由はなにか？ ・よりよい社会を実現しようとする態度を養うにあたり、ベースとなる自己肯定感が醸成されているか？
		H. 協働的に取り組む力	・ 多様な人との積極的な出会いや、機会への参画などから情報を収集できているか？ ・ 異なる視点や考え方があることを受け入れる姿勢、対話を通して学びを深める力が得られているか？ ・ 協働学習者や協力者の巻き込み、双方の意識を高める学習の質を上げるといった経験を積めているか？
	2-③. 探究活動を通して得た学びを、本学での学びや自身の将来設計にどのように活かすか	J. 自己分析し、成長する力	・ 探究の学習プロセスを通して、振り返りが十分にできているか？さらに、振り返りから、自分の人生や将来について考え、学んだことを自己のキャリア形成の方向性と関連づけることができているか？
		A. 探究活動を継続的に行う力（１）	・ 探究の意義や価値を理解する観点から、高校時代の探究学習が大学進学後の新たな、または継続的な学びや活動にどのように関連しているのか？ ・ 大学進学後の継続的な探究学習の計画がなされているか？実行の可能性があるのか？
	3. 探究活動を行うにあたって参考にした書籍 ・論文 ・データ等	C. 情報を収集する力 D. 情報を整理、分析する力	・探究学習や活動において、先行研究や最新の情報や事例を十分に参照できているか？ ・様々なリソースから必要な情報を収集し、分析、比較、分類、関連付けなどを行い、設定された課題解決に向けて活用できているか？
	4. 探究学習実績5. 発表実績	A. 探究活動を継続的に行う力（２）	高校時代までに探究学習のサイクルを複数回経験し、その学び方がどれだけ身についているか？
添付書類（成果物等）	添付書類（成果物等）	E. プレゼンテーション資料の内容 F. プレゼンテーション資料の表現力	・ 探究学習や活動の取り組みが、最終的にどのようにまとめられ、それらが成果物として充実した内容であったか？ ・設定された課題に対して、情報や自身の意見が資料（論文、発表資料等）にまとめられているか？ ・ 効果的なツールを駆使しながら、発表資料等が作成できているか？
全体	全体	I. 思考力、創造力	総合的に評価

H 基礎力評価方式（第1回・第2回）

専願　桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願　他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17（Ⅱ.2出願資格）に該当する者。

出願条件：なし

■選抜方法

基礎力評価方式	学群	選抜方法・審査方法
1次審査	すべての学群	基礎力審査　詳細はP.52を確認してください
2次審査		1.書類審査 2.面接（約10分。芸術文化学群のみ約15分。） ・面接は受験者1人、面接担当者1人～2人で実施します。 ・グローバル・コミュニケーション学群の面接方法は、P.58（Ⅱ.6グローバル・コミュニケーション学群の審査方法）で確認してください。 ・航空学群 3コースは英語による質問もします。 ・芸術文化学群は、全専修共通で面接審査を実施します。実技型、作品審査型、課題図書型の選択はありません。

■ 出願期間等の日程

		（第1回）基礎力評価方式	（第2回）基礎力評価方式
インターネット出願	出願登録	9月1日（火）～9月10日（木）	10月9日（金）～11月12日（木）
		最終日は正午（12時）まで	
	検定料支払期限	9月10日（木）	11月12日（木）
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は、検定料の支払い、および「オンライン提出書類」の提出が完了した後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。	
	出願書類提出期限	9月10日（木）　消印有効	11月12日（木）　消印有効
		出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間について、注意してください。	
1次審査（基礎力審査）	1次受験票発行開始日	9月18日（金）	11月17日（火）
		15時から順次発行	
	基礎力審査試験日	**9月26日（土）**	**11月21日（土）**
		集合時間：10:00　試験会場：町田キャンパス	
	1次合格発表日	10月16日（金）	12月4日（金）
		合否照会は10時から可能です。	
		2次審査（1次審査合格者のみ）の集合時間等の詳細は、2次受験票で確認してください。	

		（第1回）基礎力評価方式	（第2回）基礎力評価方式
2次審査（書類・面接等の総合審査）	2次受験票発行開始日	10月16日（金）	12月4日（金）
		15時から順次発行	
	オンライン面接試験事前接続テスト※1（オンライン選択者のみ参加必須）	**10月20日（火）9:00～10月21日（水）17:00**	**12月8日（火）9:00～12月9日（水）17:00**
		都合の良い時間にアクセスしてテスト実施（所要時間約10分程度）	
	試験日（キャンパス・オンライン共通）	**10月24日（土）：** ビジネスマネジメント学群、芸術文化学群	**12月12日（土）：** すべての学群
		10月25日（日）： リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース	
	キャンパス選択者試験会場	**［新宿キャンパス］**：ビジネスマネジメント学群 **［東京ひなたやまキャンパス］**：芸術文化学群 **［町田キャンパス］**：リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース	**［東京ひなたやまキャンパス］**：芸術文化学群 **［町田キャンパス］**：リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、教育探究科学群、航空学群 3コース
	2次合格発表日	11月2日（月）	12月18日（金）
		合否照会は10時から可能です。また、合格者のみ13時から合格通知を確認できます。	
入学手続締切日	専願	11月13日（金）	2027年1月8日（金）
		一括納入（入学金および春学期納入金）	
	併願（1次）	11月13日（金）※2	1月8日（金）※2
		（入学金）	
	併願（2次）	2027年2月24日（水）	2月24日（水）
		（入学金以外の春学期納入金）	

※1〈オンライン面接試験事前接続テスト〉「オンライン」を選択した1次審査合格者は、「オンライン面接接続テスト」を事前に行います。テストの詳細は受験票にてお知らせします。なお、合否には一切関係ありません。
※2 1次入学手続を期日までに行わなかった場合、その後の入学手続はできません。入学の意思がないものとみなします。

重要

基礎力審査について

●高校2年次修了までに学習する基礎・基本の内容を中心に、基礎力を測ります。

●マークシート形式で試験時間は80分になります。時間内に2つの科目を解答してください。各科目100点満点です。

●学群ごとに受験科目が異なります。以下の表＜基礎力審査の時間割と学群ごとの受験科目＞を確認してください。

●英語資格・検定試験の級またはスコア、中国語・韓国語検定試験の級（グローバル・コミュニケーション学群のみ）によるみなし点を活用する場合は、英語科目の受験は任意です。

●英語科目を受験しない場合の試験時間は10:30~11:10になります。

●出題範囲は以下の通り。

（英語）：「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「論理・表現Ⅰ」

（国語）：「現代の国語」、「言語文化（古典除く）」

（数学）：「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A（図形の性質・場合の数と確率）」、「数学B（数列）」

■基礎力審査の時間割と学群ごとの受験科目

１次審査（基礎力審査）集合時間	受験科目・試験時間 10:30~11:50 ※時間内に2つの科目を解答してください。		対象学群
午前10時	国語または数学（出願時に選択）	英語	リベラルアーツ学群、健康福祉学群、教育探究科学群
	国語	英語	グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、芸術文化学群
	数学	英語	航空学群 3コース、フライトオペレーション（パイロット養成）コース

■英語資格・検定試験による英語科目得点換算表（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースは対象外）

英語資格・検定試験		得点換算（みなし点）			
		100点	90点	80点	70点
実用英語技能検定（英検）	従来型	準1級または2304点以上	2級かつ2150点～2303点	2級または1980点～2303点	準2級プラスおよび準2級または1728点～1979点
	英検S-CBT				
	英検S-Interview				
ケンブリッジ英語検定※1		160点以上	150点～159点	140点～149点	120点～139点
GTEC※2	「GTEC」CBTタイプ	1180点以上	1050点～1179点	930点～1049点	680点～929点
	「GTEC」検定版	1180点以上	1050点～1179点	930点～1049点	680点～929点
TOEIC® L＆R※3		785点以上	665点～780点	550点～660点	ー
TOEIC® L＆RおよびS＆W※3		1095点以上	945点～1090点	790点～940点	ー
TOEFL iBT®※4		72点以上	57点～71点	42点～56点	ー
IELTS™※5	アカデミック・モジュール	5.5以上	5.0	4.0～4.5	ー
TEAP		309点以上	253点～308点	225点～252点	135点～224点
TEAP CBT		600点以上	510点～595点	420点～505点	235点～419点

●対象となる選抜の出願初日からさかのぼって2年間以内に受験したものであること。さらに出願締切日までに提出できる1種類かつ1回のものに限ります（異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません）。

※1 受験した各試験種別［ファースト（FCE）等］の合格・不合格は問わない（スコアのみを合否判定に採用）。Linguaskillは不可。

※2 4技能のオフィシャルスコアに限る。

※3 IP（Institutional Program）は不可。

※4 Test Date Scoresのスコアに限る。TOEFL iBT® Special Home Editionは可。My Best™ Scores、ITP（Institutional Testing Program）は不可。2026年1月21日以降に受験した新スコア形式（1.0～6.0のバンドスコア）でも出願可能です。スコアレポートに併記される旧スコア（0～120点）の数値を確認して出願してください。

※5 IELTS™は証明書に記載されている「オーバーオールバンドスコア」欄のスコア。Computer delivered IELTSを含む。General Training Moduleは不可。

■中国語・韓国語の資格、検定試験による英語科目得点換算表（グローバル・コミュニケーション学群のみ）

資格・検定試験	得点換算（みなし点）			
	100点	80点	70点	60点
漢語水平考試（HSK）	4級	3級	2級	
中国語検定試験（中検）	3級	4級	準4級	
韓国語能力試験（TOPIK）	4級	3級	2級	
「ハングル」能力検定試験	準2級	3級	4級	
高校生のための韓国語検定試験				レベルII

※ 中国語・韓国語の検定試験は、対応する言語トラックを出願時に選択した場合のみ活用可能（英語検定試験は全トラックで活用可能）

■言語トラックごとに活用可能な資格・検定試験について

英語トラックを選択した場合：英語の資格・検定試験を活用可能
中国語トラックを選択した場合：英語、中国語の資格・検定試験を活用可能
日本語トラックを選択した場合：英語の資格・検定試験を活用可能
トリリンガルトラック（韓国語・英語）を選択した場合：英語、韓国語の資格・検定試験を活用可能
トリリンガルトラック（韓国語・中国語）を選択した場合：英語、中国語、韓国語の資格・検定試験を活用可能

■課題図書

基礎力評価方式は、課題図書はありません。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	志望理由書	4	
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 ただし、基礎力評価方式の出願者で、英語・中国語・韓国語の資格・検定のスコア換算利用を希望する者は、オフィシャルスコア得点の記載がある証明書（出願初日からさかのぼり2年以内の受験で、資格検定種別は1種のみ1回分に限り有効)）のコピーを提出してください。 また、グローバル・コミュニケーション学群への出願者で、第一言語または第一言語以外の語学力（英語・中国語・日本語・韓国語）を証明する資格がある者は合格証明書、オフィシャルスコアがある者は得点の記載がある証明書の各コピーを提出してください。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版)、GTEC（3技能版)、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語)、中国語検定 ・高校生のための韓国語検定試験、韓国語能力試験（TOPIK)、ハングル能力検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可)。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma)」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	―	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

5 総合型選抜（航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コース）

専願 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

併願 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

重要

専願・併願について

総合型選抜の各選抜方式により、「専願」と「併願」があります。いずれかを選択のうえ出願してください。

① 専願… 桜美林大学を第1志望とし、合格後は必ず本学に入学することを前提とした制度。

② 併願… 他大学へ志願することも可能な制度。ただし、本選抜に合格した後、所定の手続期間内に手続きがない場合、入学の意思がないものとみなします。

■出願資格と選抜方式固有の出願条件

出願資格：P.17の（Ⅱ.2出願資格）を満たす者。

出願条件：以下の出願条件すべてに該当する者。

①入学後の学修目標を明確に持っている者。

②幅広い教育の中で、深い専門性を身につけることに対して積極的に学ぶ意欲と能力を有している者。

③「自分探し」「自分づくり」を熱望している者。

④学業・技術・技能・文化・芸術・スポーツ等の分野での努力と経験を積極的に活かし、これからの社会で通用する実力を付加価値として自ら身につけることが期待できる者。なお、高等学校等卒業までに「数学Ⅱ」、「物理基礎」・「物理」の単位を修得していることが望ましい。

重要

面接・実技試験の実施方法について

本選抜方式の２次審査は、試験会場（キャンパス）での実施でオンラインはありません。また、本学が指定した試験日時の変更は一切できません。

■選抜方法

総合評価方式	選抜方法・審査方法
１次審査	書類審査
２次審査（オンラインはありません）	1.適性検査（飛行適性検査※1を含む） 2.面接（日本語面接、英語面接をそれぞれ実施）

基礎力評価方式	選抜方法・審査方法
１次審査	基礎力審査※2
２次審査（オンラインはありません）	1.適性検査（飛行適性検査※1を含む） 2.面接（日本語面接、英語面接をそれぞれ実施）

※1 ２次審査では面接と飛行適性検査を含む適性検査を行いますので、ご自身の判断でふさわしい服装を着用してください。

※2 基礎力審査の詳細はP.50（Ⅱ.4総合型選抜　H 基礎力評価方式）をご確認ください。

■ 出願期間等の日程

		総合評価方式	基礎力評価方式
インターネット出願	出願登録	9月1日（火）～9月10日（木）	9月1日（火）～9月10日（木）
		最終日は正午（12時）まで	
	検定料支払期限	9月10日（木）	9月10日（木）
		出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は、検定料の支払い、および「オンライン提出書類」の提出が完了した後から印刷が可能となります。出願書類提出期限に間に合うように、早めに検定料を支払うようにしてください。	
	出願書類提出期限	9月10日（木） 消印有効	9月10日（木） 消印有効
		出願書類提出期限は消印有効となりますので、特に期限最終日の郵便局の取り扱い時間について、注意してください。	
1次審査	1次受験票発行開始日	9月18日（金）	9月18日（金）
		15時から順次発行	
		※受験番号はインターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行し、確認してください。	
	基礎力審査試験日	–	**9月26日（土）** 集合時間：10:00　試験会場：町田キャンパス
	1次合格発表日	10月16日（金）	10月16日（金）
		合否照会は10時から可能です。	
2次審査（書類・面接等の総合審査）	2次審査費振込期間	10月16日（金）～10月22日（木）	10月16日（金）～10月22日（木）
		※【重要】1次審査の結果が合格の場合は、上記期間内に2次審査費35,000円を振り込んでください。期間内に振り込みがない場合、2次審査を辞退したものとみなします。（振込先はP.67（III.2検定料および航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースの２次審査費について）を確認してください。）	
	2次受験票発行開始日	10月30日（金）	10月30日（金）
		15時から順次発行	
		※2次審査（1次審査の合格者のみ）の集合時間等は、インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行・印刷し、確認してください。	
	試験日	**11月7日（土）、8日（日）のうち本学が指定する1日間**	
		※試験日時の指定変更はいかなる理由でも一切できません。	
		試験会場：多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）	
	2次合格発表日	11月13日（金）	
		合否照会は10時から可能です。合格者のみ13時から合格通知が確認できます。	
入学手続締切日	一括納入（入学金および春学期納入金）	11月20日（金）	

■課題図書

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースは課題図書がありません。

■出願書類

・オンライン提出した書類は郵送不要です。郵送書類を任意の角2（角型2号）封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。郵送方法の詳細はP.12（4出願から入学手続までの流れ）を確認してください。不足のないよう十分に注意してください。
・提出した書類・資料、情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。なお、提出した書類・情報から語学資格の試験結果について真偽の確認を、試験実施機関に行う場合があります。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
ウェブ入力	志願者経歴書	1	
ウェブ入力	自己PRシート	2	総合評価方式の出願者のみ提出してください。
ウェブ入力	活動報告書	3	高等学校等入学後から出願時までの期間における活動実績を記入してください。ただし、幼少期等から始めた活動で、高等学校等入学時点まで継続して取り組んでいる活動については記載することができます。 総合評価方式の出願者のみ提出してください。別添資料（コピー可）の提出は任意です。別添資料は郵送で提出してください。（オンラインのアップロードはできません）。別添資料の郵送をする場合は、他の郵送が必要な出願書類とともに、郵送ラベルを使用して郵送してください。
ウェブ入力	志望理由書	4	基礎力評価方式の出願者のみ提出してください。
コピー郵送	航空身体検査	9	航空身体検査指定機関（航空身体検査 指定医療機関一覧参照）で検査し、「第一種相当」の証明を受けてください。 ・医療機関での受診および診断結果を受け取るまでに時間を要するため、受診の予約は早めに行ってください。 ・2026年5月1日以降に受診したものが有効となります。 ・様式の1ページ目は事前に記入し、受診時に医療機関に提出してください（2ページ目は医療機関記入欄です）。 ・出願書類提出時は、1ページ目、2ページ目および医療機関からの航空身体検査の結果詳細に関する書類（例：航空身体検査成績書など）をコピーの上、提出してください。
出願サイトにデータアップロード	顔写真データ	―	・正面、上半身、脱帽、背景無地のもの ・データのファイル形式はJPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）とPNG（拡張子「.png」） ・入学後の学生証写真となるため、学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。データ加工不可 （※インターネット出願時のアップロードのみ。提出書類として写真（紙）は必要ありません。）
コピー郵送	出願条件を満たす語学資格等の証明書	―	出願条件の英語資格またはスコアを提出してください。

提出方法	様式名	様式番号	注意事項
コピー郵送	合格証明書・認定書・検定試験・語学力評価等の資格証明書のスコア	―	提出は任意。 ・実用英語技能検定、TOEFL iBT®、TOEIC® L&R、GTEC（4技能版）、GTEC（3技能版）、GTEC CBT ※実用英語技能検定についてはデジタル合格証明書、デジタル英検CSEスコア証明書、合格証明書プレビュー画面、個人成績表のコピーの印刷提出も可 ・HSK（中国語）、中国語検定 ・日本語能力試験、日本留学試験、SAT、ACT、TOEFL® Test、GCE、ABITUR、BACCALAUREATE等 ・ハングル能力検定試験 過去にいずれかの試験を受けている場合は提出。合否判定時の参考資料とします。
原本郵送 厳封	高等学校等の調査書等	―	・出願初日からさかのぼって3ヶ月以内に発行したもの ・高等学校等の在学中に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください（コピー可）。 ・高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定含む）は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」（合格証明書ではありません）を提出してください。 ・外国の高等学校を卒業（見込み）の者は、「卒業（見込み）証明書（Diploma）」、「成績証明書」を提出してください。（日本語、英語表記以外のものには、任意様式のうえ日本語訳を添付すること） ・大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 ・第1回に出願する場合、2学期制の高等学校においては、第3学年前期の成績を記載できない場合、第2学年末までの学習成績の状況が記載された調査書を提出してください。
ウェブ入力	経費支弁書 （外国籍のみ）	11	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。
原本郵送	住民票の写し （外国籍のみ）	―	外国籍（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）の出願者は提出してください。在留資格が記載されているものでコピーは不可です。 （※在留カードではありません。日本の住民票がない者は提出の必要はありません。）

6 グローバル・コミュニケーション学群の審査方法

グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、複数の言語で面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。
面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。時間は約20分（総合型選抜基礎力評価方式は約10分）です。面接では志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。
課題図書については、選んだ本が書かれている言語で質問します。

○：面接で必ず使用する言語　△：面接で必要に応じて使用する言語

第一言語＊	入学を希望する言語トラック	面接で使用する言語				備考
		日本語	英語	中国語	韓国語	
日本語	日本語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
	英語	○	○※1	ー	ー	※1総合型選抜基礎力評価方式では、英語を使用した面接は行いません。
	中国語	○	ー	○※2	ー	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	○	○※1	ー	○※3	※1総合型選抜基礎力評価方式では、英語を使用した面接は行いません。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	○	ー	○※2	○※3	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
英語	日本語	○	○	ー	ー	
	英語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	中国語	ー	○	○※2	ー	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	ー	○	○※2	○※3	※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	ー	ー	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	ー	ー	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	△	○	ー	○※3	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックと第一言語が同じ場合は出願できません。

第一言語＊	入学を希望する言語トラック	面接で使用する言語				備考
		日本語	英語	中国語	韓国語	
韓国語	日本語	○	△	ー	ー	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	ー	ー	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○※2	ー	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	ー	ー	ー	ー	入学を希望する言語トラックで、第一言語を選ぶことはできません。
上記以外の言語	日本語	○	△	ー	ー	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英語	△	○	ー	ー	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○※2	ー	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次英語）	△	○	ー	○※3	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。
	トリリンガル（1年次 韓国語、2年次中国語）	△	△	○※2	○※3	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 ※2中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。 ※3韓国語未習者の場合は、韓国語による面接は免除します。

＊「第一言語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が第一言語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日本語・英語・中国語のうち1つか2つの言語でも面接を行うことがあります。

7 芸術文化学群の審査方法

面接および実技型・作品審査型の観点＜キャンパス、オンライン受験共通＞

（1）面接の観点

① 文化、言語、音楽、演劇、造形デザイン、映像の分野に強い関心をもち、さらに大学の4年間の学修活動で高めていきたいという意欲（学力形成力）が感じられるか。

② 多様な芸術文化に触れることで、表現力や思考力等を専門的に身につけたいと考えているか。

（2）実技審査の観点

【演劇・ダンス専修】

① 出会った人とコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことができるか。

② 与えられた課題に対して、自分なりに表現することができるか。

③ 課題に取り組む姿勢、向き合う意欲や基礎的な身体能力があるか。

④ 演劇、ダンス、ミュージカル等のパフォーミングアーツに対して熱意を持っているか。

【音楽専修】

① 試験曲に十分な時間をかけて、丁寧に準備した形跡があるか。

② 音楽に対する意欲が感じられるか。

【ビジュアル・アーツ専修】

① 情熱を持って作品を制作しているか。

② 豊かな感性、表現力が感じられるか。

③ 基礎的な造形力が感じられるか。

重要

芸術文化学群の審査内容は、専修・審査方式・実施方法によって異なります。志願者は、各専修の審査内容をよく確認し、インターネット出願時に審査方式（「実技型」・「作品審査型」または「課題図書型」）および実施方法（「キャンパス」または「オンライン」）を選択した上で準備をするようにしてください。~~なお、探究入試（Spiral）における演劇・ダンス専修の選抜は、「課題図書型」のみとなります。~~（2026/7/22 削除）

① キャンパス受験

選抜方式	専修	審査方式	審査項目（いずれかを選択）	審査内容
総合型選抜（第1回、第2回）2次審査	演劇・ダンス	実技型	演劇［実技と面接］	グループ構成による課題への集団創作と発表を行い、その後、オーディション形式でのグループ面接を実施します。 ※審査にあたり動きやすい服装と上履き（スニーカーなど）をご持参ください。
			ダンス［実技と面接］	集団でのワークショップ形式による実技審査を行います。その場で提示される短い振付を通して、踊りに向き合う意欲と基礎的な身体能力を評価します。実技審査後、個別面接を行います。 ※審査時は原則として裸足で、動きやすい服装を着用してください。
			ミュージカル［実技と面接］	集団ミュージカル・ワークショップ形式の実技審査に加え、個別の歌唱審査（3分程度）と個別面接を行います。自由に選択した1曲（ミュージカル楽曲推奨）を歌唱します。 ・音源について 伴奏音源データ（スマートフォン、タブレット、PC）をご持参ください。Type-C、Lightning、ステレオミニプラグは用意してあります。またBluetooth接続もできます。
		課題図書型	面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。	
	音楽	実技型	声楽、ミュージカル（歌）、ジャズ・ポピュラー（ヴォーカル、各楽器）ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器（撥弦楽器を含む）のいずれかを選び、任意の一曲を演奏していただきます。その後、面接を行います。 大学で用意する楽器はピアノ、コントラバス、パイプオルガン、ハープ、マリンバ、ドラムセットです（ピアノ以外は要予約）。その他の楽器はご自身でご持参ください。伴奏者の同伴、または伴奏としての音源データ（スマートフォン、タブレット）の持ち込みが可能です。楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技を希望する方は、ご自身で作曲した音楽作品（約5分程度）のサウンドファイルとその楽譜をご持参いただくことで、演奏審査に代えることができます。 審査時間は実技審査と面接を合わせて約15分です。	
		課題図書型	面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。	
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	試験当日、ご自身で制作した作品一点（美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメーションなど）をご持参ください。作品審査では、制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的な工夫などについて3〜5分程度のプレゼンテーションを行っていただき、その後、面接を行います。映像、アニメーション作品などの収録時間は3分以内とし、再生用のPCはご自身でご持参ください。補足資料として、その他の作品をまとめたポートフォリオの持参も可能です。 審査時間は作品審査と面接を合わせて約15分です。	
		課題図書型	面接（約15分） ・課題図書の内容理解度を含む。課題図書はP.20（課題図書）で確認してください。	

志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合には事前に連絡します。
面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。ただし、演劇の「実技型」におけるグループ面接は受験者複数、面接担当者2人で実施します。

② オンライン受験

選抜方式	専修	審査方式	審査内容
総合型選抜（第1回、第2回）2次審査	演劇・ダンス	実技型	演劇・ダンス専修はオンライン受験での実技審査は実施しません。
		課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）
	音楽	実技型	［実技動画提出とオンライン面接］ 声楽、ミュージカル（歌）、ピアノ、管楽器、打楽器、弦楽器（撥弦楽器を含む）のいずれかを選び任意の一曲を演奏したものを動画収録しデータを事前提出する。ただし、大学側からの楽器の貸し出しは行いません。伴奏が必要な場合は、伴奏者または伴奏音源と共に演奏し動画収録すること。また、楽器演奏ではなく作曲等の分野で実技審査を希望する者は、自身が作曲した音楽作品（5分以内）の録音データおよびその楽譜の提出で、動画データ提出に代えることができる。試験当日はオンライン面接を課す。オンライン面接では提出動画データ等に関する設問が含まれる。面接は約15分。
		課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）
	ビジュアル・アーツ	作品審査型	［作品データ提出とオンライン面接］ 自分の制作した作品一点（美術、デザイン、工芸、服飾、写真、マンガ、映像、アニメ等）および補足資料をデータにて事前提出する。試験当日の作品審査では、補足資料を用いて制作意図、制作にあたり調べたこと、技法的工夫などについて3〜5分のプレゼンテーションを行い、その後面接を行う。作品審査と面接合わせて約15分。
		課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）
総合型選抜（第3回、第4回）2次審査	演劇・ダンス	課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）
	音楽	課題図書型	課題図書をもとにオンライン面接審査（約15分）

●インターネット出願完了後に、志望する専修および審査方式を変更することはできません。
●「実技型」は志願者が一定の人数に達しない場合は、審査内容を一部変更する場合があります。変更する場合は事前に連絡します。
●面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
●音楽専修の「実技型」志願者は、インターネット出願の際に「演奏する楽器の種類」または「声楽」、「ミュージカル（歌）」を入力してください。

■オンライン受験の事前提出課題と提出期間

専修	審査方式	事前提出する動画・作品提出要領	提出期間
演劇・ダンス	課題図書型	事前提出課題はありません。	
音楽	実技型	［事前提出動画について］ ・演奏時間は5分以内。 ・志願者ははじめにカメラに向かって正面に立ち、所属校等、氏名、演奏曲目を述べた後、演奏を始めること。 ・演奏中は志願者の前方、斜め前方又は側方より収録し、全身が収まるようにすること。 ・収録開始から終了までノンストップで収録し、動画に加工や編集は行わないでください。	［総合型選抜第1回］ 9月25日（金）～ 10月2日（金） ［総合型選抜第2回］ 11月12日（木）～ 11月22日（日）
	課題図書型	事前提出課題はありません。	
ビジュアル・アーツ	作品審査型	［事前提出作品および補足資料について］ A）物理的な作品（平面・立体）を提出する場合 　①提出作品＝作品の全体像等を写真データとして事前提出。試験当日はオンライン上で作品現物を映すこと。 　②補足資料＝①で提出する写真データ以外の異なる角度/こだわった細部の鮮明な写真等の写真データの事前提出（合計3点以上）。 B）映像・動画作品を提出する場合 　①提出作品＝動画3分以内 　②補足資料＝制作時のことを映像・画像・文章などでまとめたワークレポート［作業報告書］ C）WEBデザインを作品として提出する場合（SNS等は不可） 　①提出作品＝URLにて示す 　②補足資料＝主要ページのキャプチャ画像	［総合型選抜第1回］ 9月25日（金）～ 10月2日（金） ［総合型選抜第2回］ 11月12日（木）～ 11月22日（日）
	課題図書型	事前提出課題はありません。	

事前提出する動画・作品の提出方法について

出願登録後、出願完了メールを送信します。そのメールに動画・作品提出方法をお知らせしますので、上記の事前提出する動画・作品提出要領に沿って、データをアップロードしてください。

8 教育探究科学群の「コネクト要件」について

教育探究科学群では、学群での学びにつながる取り組みを「コネクト要件」として定めています。下表の要件に該当する取り組みについて、出願時にインターネット出願サイトの所定の設問で自己申告した場合、総合型選抜の書類審査（1次審査）において加点の対象とします。コネクト要件の詳細は、本学受験生サイトを確認してください。

〔受験生サイト〕https://admissions.obirin.ac.jp/admissions/connect/

■① 出願時の自己申告

- 下表の「要件」に該当する取り組みをしたことがある場合は、インターネット出願サイトの所定の設問で自己申告してください。
- 事前の申し込みや審査、活動を証明する書類の提出は必要ありません。
- 申告した取り組みが要件を満たさないと判断された場合でも、減点や不利な取り扱いは一切ありません。

対応する教育探究科学群のユニット	要件	想定される取り組み（探究テーマ）の例
ユースサポーター	友人や子どもの相談に乗ったり、子どもを支援するボランティアをしたことがある	友人などの悩み相談、幼い子どものケア、小中学生に勉強を教えるボランティア、発達支援ボランティア、子どもの居場所づくり、子ども食堂、等
人材・組織デザイン	人やチームの力を引き出すために工夫したことがある	部活動・委員会・クラブチーム等のチームビルディングやコミュニケーションの工夫、起業、勉強を教え合う、より良い勉強方法や練習メニューを考える、等
地域クリエイター	学校・地域のイベントに積極的に参加したり、魅力を発信する活動をしたことがある	文化祭、体育祭、地域のボランティア、町おこしの活動、ツアーガイド、等
教育探究	人の成長や発達、学校／学校外の教育について、探究授業でテーマとして取り扱ったことがある、または自主的に学んだことがある	効率的な勉強方法、教員の忙しさ、日本と外国の学校の違い、学校以外の学び場、人それぞれに合った学びの形、教育システムや学習環境の問題、ほか教育学全般
心理探究	心理や対人関係について、探究授業でテーマとして取り扱ったことがある、または自主的に学んだことがある	モチベーション、ストレス、恋愛、対人関係、発達支援、パーソナリティ分類、メンタルヘルス、ほか心理学全般
社会探究	環境問題、不登校等の社会問題について、探究授業でテーマとして取り扱ったことがある、または自主的に学んだことがある	環境、ジェンダー、格差、政治、多文化共生、いじめ、不登校、町おこし、SNS、メディア、推し活、サブカルチャー、ほか社会学全般

■② 書類審査での加点

- 申告内容は、下表のとおり総合型選抜の各方式の1次審査において加点の対象とします。

総合型の方式	加点の対象
総合評価方式	1次審査「入学前の経験の『再現性』」の項目で加点します。
探究入試（Spiral）	1次審査「A. 探究活動を継続的に行う力」の項目で加点します。

※ 1次審査の配点は非公開のため、加点される点数も非公開です。

III 出願手続

1 出願上の注意事項

一度提出された書類および納入された検定料は、原則として返還しません。ただし、以下のケースに該当する場合は、検定料に限り返金にかかる手数料を差し引いた金額を返還します。選抜ごとに定められた期限までに手続きを行う必要があります。

①検定料を支払ったが、出願期間内に出願書類を提出しなかった

②検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が完了しなかった

③検定料を支払った後に出願内容の変更希望が生じ、改めて出願し直した場合における、最初に出願した分の検定料（ただし、出願期間終了後は、出願内容の変更はできません）

【検定料返還の手続き方法】

対象者には受験票発行開始日以降、インターネット出願サイトの「マイページ」に「検定料返還申請」ボタンが表示されます（受験票発行開始日から1週間程度かかることがあります）。検定料返還の手続きをする方は、「マイページ」の諸注意事項をよく読み、以下の申請期限までに手続きを行ってください。申請期限後の申し出については返還しません。

【検定料返還申請期限】

選抜	申請期限
総合型選抜（第1回）	2026年10月2日（金）
総合型選抜（航空学群フライト・オペレーションコース）	2026年10月2日（金）
総合型選抜（第2回）	2026年12月1日（火）
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜（第1回）	2026年11月13日（金）
学校推薦型選抜（指定校制・公募制）	2026年12月4日（金）
指定校制学校推薦型選抜（航空学群フライト・オペレーションコース）	2026年12月4日（金）
国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、学校推薦型選抜（指定校制）（第2回）、総合型選抜（第3回）	2027年1月7日（木）
一般選抜（前期）、大学共通テスト利用選抜（前期）	2027年2月10日（水）
一般選抜（中期）、大学共通テスト利用選抜（中期）	2027年3月5日（金）
一般選抜（後期）、大学共通テスト利用選抜（後期）、総合型選抜（第4回）	2027年3月18日（木）

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても検定料の返還はできません。

【検定料の返還時期】

入学辞退申請完了後、約1ヵ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

● 出願後に、以下を変更することはできません。

志望学群もしくは選抜方式（全学群）、領域（リベラルアーツ学群）、入学後に学修を希望する主たる言語トラック（グローバル・コミュニケーション学群）、専攻（健康福祉学群）、専修（芸術文化学群）、コース（航空学群）。
出願時に間違いがないことを必ず確認してください。

2 検定料および航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースの2次審査費について

■ 検定料について

検定料はすべての学群で35,000円です。
検定料の支払いは、以下の2つの支払い方法により、インターネットで出願する際に選択してください。なお、検定料のほかに事務手続料が別途かかります。

①指定のコンビニエンスストアでの支払い（日本国内のみ）

②クレジットカードを利用しての支払い

※一度納入された検定料は返金できません。

■ フライト・オペレーション（パイロット養成）コース 2次審査費について

1次審査の合格者は、2次審査受験のための2次審査費（35,000円）を振込期間内に振り込んでください。

本校指定の振込用紙はありません。
振り込みは銀行備え付けの用紙を使用し窓口で支払うか、ATM、インターネットバンキングにより振り込んでください。

※2次審査費は、コンビニエンスストア、クレジットカードでのお支払いはできません。

振込先	三井住友銀行　町田支店　普通　6964363 （ガク）オウビリンガクエン
振込金額	35,000円
振込人氏名	受験番号　カナ氏名（例：12345678オウビリンタロウ） ※カナ氏名の前に受験番号8桁を必ず付けてください。
振込期間	〈総合型選抜〉　10月16日（金）～10月22日（木）（期限厳守）

⚠ 期間内に振り込みがない場合、2次審査を辞退したものとみなします。
振込締切日後、指定日時より2次審査の「受験票」を発行します。受験票の発行開始日は、各選抜の「出願期間等の日程」を確認してください。

3 受験票

- インターネット出願サイトの「マイページ」で「受験票」を発行日時以降、順次発行します。
- 「受験票」は印刷ボタンより印刷し、試験当日に提示できるように準備してください（A4サイズ推奨）。また、集合時間等の詳細は受験票で確認してください。携帯電話等の画面を使用しての受験票の提示は認めません。
- 試験日時の変更はいかなる理由があっても応じません。

4 試験当日の注意事項

■ キャンパスで受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
- 町田キャンパスの受験者は、試験当日に試験場案内注意のプリントを必ず受け取り、指示に従ってください。その他のキャンパスでの受験者は、会場ごとに本学スタッフの指示に従ってください。
- 集合時間までに予め指定された控室もしくは試験室に入り、指定された座席に着席してください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしますので、十分注意してください。
- 面接・実技審査は集合時間から30分以上経過した場合、筆記試験は集合時間から50分以上経過した場合は原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、受験票に記載されている電話番号に連絡をし、担当者の指示に従ってください。
- 試験当日、試験場付近や下車駅にて下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学と一切関係はありませんので注意してください。

■ オンラインで受験する方

- 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず手元に準備してください。
- オンライン面接試験事前接続テストと同じ環境で受験してください。（同じ部屋・パソコン等環境の確保）
- 受験環境の不備により試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
- 試験中は、バーチャル（仮想）背景は使用しないでください。
- 不正防止の為、試験中の様子は録画しますので、予めご了承ください。
- 受験する環境（部屋）に、受験する本人以外の方が在室しないようにしてください。
- 試験途中での入退室はできません。
- 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作（インターネット検索等）は行わないでください。
- 試験に利用するパソコン（スマートフォン）および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの（電子機器等）は持ち込まないでください。
- 試験内容の記録（録画や録音、メモ等）や、SNSでの発信等は行わないでください。
- その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。
- 試験当日、または後日、上記に違反するような事案が判明した場合（SNSでの発信等を含む）には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。

※ その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については、本要項の記載および出願時にご案内する情報を確認してください。

5 受験時および修学時に特別な配慮や支援が必要な方

桜美林大学では、障害者差別解消法に基づき、入試および大学生活における障壁を取り除く「合理的配慮」を提供しています。
受験時および修学時に合理的配慮を希望する受験生は、出願期間前に以下のフォームより申請を行ってください。
https://forms.gle/kY8U8kZ6t4pXB1Sx9

■ 申請期限

申請期限は受験を希望される選抜方式の出願開始日の一か月前までとなっています。

選抜	申請期限
総合型選抜第1回	2026年8月3日（月）
総合型選抜第2回	2026年9月9日（水）
総合型選抜第3回	2026年10月19日（月）
総合型選抜第4回	2027年1月7日（木）

申請期限日以降の申請は原則受け付けませんが、期限後に発症した場合などはお問い合わせください。
また、事前相談なく受験して、合格・入学後に配慮・支援の申し出があった場合は、配慮・支援の対応ができないことがあります。
卒業要件に係る授業の履修が困難になり、卒業が難しくなる可能性もありますので、配慮・支援を希望される場合は必ず事前にご相談ください。

6 出願書類の作成における生成AIの利用について

桜美林大学の総合型選抜は、「学而事人（学んだことを人や社会のために役立てる）」という建学の精神のもと、受験生一人ひとりの「これまで」と「これから」を大切にしています。生成AI利用の有無に関わらず、あなたが高校時代に経験し、考えてきたこと、そして本学での学びへの意欲を、提出された書類と面接考査等によって総合的に評価します。

生成AIの利用に関する基本方針

本学は、出願書類の作成において生成AIの利用を一律に制限していません。技術の発展を踏まえ、受験生の皆さんの判断に委ねています。

ただし、本学が最も重視するのは、あなた自身が高校時代に経験し、考えてきたことです。提出される書類は、必ずあなた自身の言葉で、あなた自身の経験と考えを表現したものでなければなりません。生成AIが作成した文章や内容をそのまま使用することは認められません。

重要な留意事項

生成AIに過度に依存すると、以下のような問題が生じる可能性があります。

・あなた自身の経験や考えを十分に表現できない
・面接での質問に対して、書類と一貫した回答ができない
・本学のアドミッションポリシー/カリキュラムとの適合性を適切に示せない

本学の総合型選抜では、書類と面接を総合的に評価します。書類に書かれた内容について、面接で深くお聞きします。

■生成AI利用に関する具体的なガイダンス

適切な活用の例

生成AIは、以下のような用途であれば、あなたの表現を補助するツールとして機能するかもしれません。

・文章の誤字脱字や文法の確認
・構成やアイデアの整理のための対話
・異なる表現方法の検討

不適切な使用の例

以下のような使用は認められません。

・生成AIに質問や課題を入力し、出力された文章をそのまま、またはわずかな修正のみで提出する
・自分が経験していない内容や、考えていない意見を生成AIに作成させ、自分のものとして提出する
・他人の経験や考えを生成AIで加工し、自分のものとして提出する

よくある質問

Q1: 生成AIを書類作成に利用してもよいですか？

A1: 書類作成において、生成AIの利用を一律に制限していません。最終的な内容が、あなた自身の経験と考えを正確に表現しているかが重要です。生成AIの出力を参考にすること自体は問題ありませんが、提出する文章は、必ずあなた自身が内容を十分に理解し、自分の言葉で表現したものでなければなりません。

Q2: 生成AIの使用を申告する必要はありますか？

A2: 申告は不要です。本学が評価するのは、提出された書類があなた自身の経験と考えを適切に表現しているかどうかです。面接では、書類の内容について具体的にお聞きします。

Q3: 英語の文章を生成AIで確認することは可能ですか？

A3: 文法や表現の確認は問題ありません。ただし、内容はあなた自身の考えでなければなりません。

Q4: どの程度まで生成AIを使用してよいか、明確な基準はありますか？

A4: 明確な線引きは困難ですが、判断の基準は「あなた自身が書いた」と自信を持って言えるかどうかです。面接で書類の内容について質問された際に、あなた自身の言葉で説明できる内容であることが重要です。本学は、出願書類の作成において生成AIの利用を一律に制限していません。技術の発展を踏まえ、受験生の皆さんの判断に委ねています。

参考資料

桜美林大学は「学生の生成AI利活用に関する基本方針」を公開しています。本学における生成AIとの向き合い方について、より詳しく知りたい方は、以下をご参照ください。

桜美林大学 学生の生成AI利活用に関する基本方針（https://www.obirin.ac.jp/about/ai_guideline.html）

Ⅳ 合否照会・入学手続

1 合否照会・合格通知

- インターネット出願サイトの「マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックすると合否結果が表示されます。合否照会は合格発表日の午前10時から確認できます。
- 「合格通知」は合格者のみ、合格発表日の13時から「マイページ」で確認できます。
- 合否の確認は上記の方法のみとし、合否の理由等を含め、電話やメールでの問い合わせには一切回答できません。
- 合格通知の郵送はしませんので、注意してください。

2 入学手続等（学納金の納入について）

- 学納金の納入方法については、合格発表日の13時に公開される「合格通知」から確認し、納入してください。納入期限までに、入学金と春学期分の授業料等を銀行振込にて納入してください。個別の入金確認は行っていません。
- 期限内に納入がない場合は、入学の意思がないものとみなします。期限後の振込は、いかなる理由でも一切受け付けません。
- 大学より「入学関係書類」の案内メールを受信したら、「マイページ」にログインして書類を確認してください。案内は該当者全員へ一斉に行うため、入学手続を早く完了しても案内が早く届くことはありません。「メール受信時期」に関する問い合わせには応じかねます。
- 「入学関係書類」記載の期日までに、必ず卒業証明書を提出してください。既卒者等は、「入学関係書類」の内容に従って書類を提出してください。

■ 入学辞退について

学納金の納入後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合はインターネット出願サイトの「マイページ」より所定の手続を行い、受理された場合、入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はできません。

[返還の対象となる選抜]

総合型選抜（併願）、公募制学校推薦型選抜（併願推薦）、国際学生選抜、社会人選抜、編入学者選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

[入学辞退申請期限]

2027年3月31日（水）15：00までにインターネット出願サイトの「マイページ」にて手続きを完了してください。

※ 申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受理および学納金の返還はできません。

※ 入学辞退の申請を完了した場合はいかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

[学納金の返還時期]

入学辞退申請完了後、約1ヶ月でご指定の金融機関へ振り込みます。

3 入学後の渡航に関する注意事項

航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースは、米国での飛行訓練が行われます。外国籍の方のビザ（M1ビザ）取得の可否に関しては、事前に必ず「米国大使館又は領事館」まで問い合わせてください。

4 学納金

2027年度入学者学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※2年次に実施する1学期間の海外留学が原則必須です。留学にかかる費用は別途必要です。

※日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意です。

■ ビジネスマネジメント学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	482,000円	25,000円	150,000円	—	807,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,464,000円
2年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
3年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	—	657,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,314,000円
4年次	—	482,000円	25,000円	150,000円	50,000円	707,000円	482,000円	25,000円	150,000円	657,000円	1,364,000円

※エアラインホスピタリティ留学にかかる費用は別途必要です。

※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	542,000円	25,000円	150,000円	—	867,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,584,000円
2年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
3年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	—	717,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,434,000円
4年次	—	542,000円	25,000円	150,000円	50,000円	767,000円	542,000円	25,000円	150,000円	717,000円	1,484,000円

■ 芸術文化学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	582,000円	25,000円	150,000円	—	907,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,664,000円
2年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円
3年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	—	757,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,514,000円

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
4年次	—	582,000円	25,000円	150,000円	50,000円	807,000円	582,000円	25,000円	150,000円	757,000円	1,564,000円

■ 教育探究科学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	515,000円	25,000円	150,000円	—	840,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,530,000円
2年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
3年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	—	690,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,380,000円
4年次	—	515,000円	25,000円	150,000円	50,000円	740,000円	515,000円	25,000円	150,000円	690,000円	1,430,000円

■ 航空学群　航空管制コース　航空機管理コース　空港管理コース

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	150,000円	—	952,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,754,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	—	802,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,604,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	150,000円	50,000円	852,000円	627,000円	25,000円	150,000円	802,000円	1,654,000円

※ 航空管制コース、航空機管理コース、空港管理コースは別途海外研修費用として約2,300,000円が必要となります。なお、物価や為替レートの変動等により費用が変更になる場合があります。

■ 航空学群　フライト・オペレーション（パイロット養成）コース

項目	春学期							秋学期					年次別総計
	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	委託徴収金（卒業諸費）	納入金合計	授業料	教育充実費	実験実習費	施設設備費	納入金合計	
1年次	150,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,552,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,954,000円
2年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
3年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	—	1,402,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,804,000円
4年次	—	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	50,000円	1,452,000円	627,000円	25,000円	600,000円	150,000円	1,402,000円	2,854,000円

※上記のほか、FAA・JCABライセンス取得のための訓練費が必要となります。〈参考〉訓練費：約20,000,000円（2026年度）

訓練費は学納金とは別に大学で定めた回数・期日に基づき納入いただきます。個人の訓練の進捗によっては追加で訓練費が発生する場合があります。なお、訓練費は、物価・航空燃料費上昇、為替レートの変動やカリキュラム編成の変更等により変更になる場合があります。

・FAA（Federal Aviation Administration）：米国連邦航空局
・JCAB（Japan Civil Aviation Bureau）：国土交通省航空局

※訓練地や飛行訓練内容は変更となる場合があります。

【全学群共通】

※教職課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。

※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

V 個別の入学資格審査

本学では、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを判断する「個別の入学資格審査」を出願前に行います。
P.17（出願資格）のうち「個別の入学資格審査」での入学を希望する方のみ。その他の資格で出願する方の「個別入学資格の審査」は不要です。

■個別の資格審査の対象となる者

以下の1.～3.のいずれかに該当する者

1.「個別の入学資格審査」の対象となる者は、我が国において高等学校相当として指定した外国人学校のうち、修業年限が12年の外国人学校を卒業した者、または卒業見込みの者。

2．1．に該当しない者であって、専修学校、各種学校等における学習歴および社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、2027年3月31日までに18歳に達している者。

3．旧制諸学校の卒業者等に準ずる者。

■個別の入学資格審査の内容

申請者の学習歴、実務経験および取得している資格等を、申請された書類を基に総合的に審査し、高等学校を卒業した者（1年次入学）や14年以上の教育課程を修了した者（編入学）と同等以上の学力があると認められるかについての判定を行います。具体的には以下の事項が審査対象の内容です。

- 専修学校、各種学校等の課程の修了等の学習歴
- 社会における実務経験や取得した資格等
- 大学の科目等履修生として修得した一定の単位
- その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

■提出書類

1．桜美林大学個別の入学資格審査申請書 様式13

2．教育施設長発行の調査書または成績証明書 厳封

3．教育施設の概要（教育施設の概要が明記されているもの）

4．教育施設の規則（教科目、授業時間数および卒業要件の明記されているもの）

5．教育施設の出身者進路概要（大学等進学者および就職者の人数が把握できるもの）

※3．教育施設の概要に規則や進路概要の事項が記載されている場合は、4.および5.の提出は不要です。

※封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書し、書留郵便にて入学部に提出してください。

■提出期限

選抜	提出期限
総合型選抜第1回［総合評価方式、基礎力評価方式、グローバル人材育成奨学生、探究入試（Spiral）］	7月24日（金）消印有効
総合型選抜第2回［総合評価方式、基礎力評価方式、探究入試（Spiral）］	9月18日（金）消印有効
総合型選抜第3回［総合評価方式、探究入試（Spiral）］	10月16日（金）消印有効
総合型選抜第4回［総合評価方式、探究入試（Spiral）］	12月21日（月）消印有効

※「個別の入学資格審査」の結果は、申請書類受領後2、3週間程度で申請者本人宛に文書で通知します。

〈書類提出先〉　〒194-0294　東京都町田市常盤町3758
桜美林大学入学部　個別の入学資格審査担当

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583　平日9時～17時）まで連絡してください。

「個別の入学資格審査」は入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。
判定の結果「出願資格有」と認定された場合は、定められた出願期間内に所定の出願手続きをし、入学者選抜試験を受ける必要があります。
なお、「個別の入学資格審査」の結果は、本学の該当する入学者選抜にのみ効力が及ぶものです。

Ⅵ その他

1 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。また、これらの業務の一部を本学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、指定した業者に対して提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、本学における入学者選抜および教育改善のための調査に利用します。

2 入学前教育のご案内

桜美林大学では、合格された皆さんが入学後の学びをスムーズにスタートできるよう、入学前教育を実施しています。高校までの学びと大学での学びをつなぎ、主体的に学ぶ力の土台をつくることを目的に、学群ごとに特色あるプログラムを用意しています。ぜひ積極的に受講し、自信をもって入学の日を迎えてください。内容・申込方法は合格後にご案内します。

3 奨学金制度

本学には、学生の経済的基盤を整え、学業継続の機会を保障するために、以下のような奨学金制度があります。制度の詳細は受験生サイトで確認してください。(奨学生の推薦、選考は学力および家計状況等を基に行います)

1．入学後に申込可能な奨学金

全学群対象

●学而事人奨学金　募集人数各学年最大6人

学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済的理由で学業継続が困難な学生に対して授業料45%の減免支援を行います。

※高等教育修学支援新制度との併用はできません。

※航空学群フライトオペレーションコースは本奨学金の対象外です。

※その他の学内奨学金との併給はできません（ただし、学群奨学金、研究科奨学金および災害による緊急の支援金等はこの限りではありません)。

●学業優秀者奨学金　募集人数69人（2〜4年次生）／給付

学士課程2〜4年次生が対象で、在学中の学業成績が特に優秀な学生に対して、各学年23人、1人につき20万円を給付します。他の学内奨学金との併給はできません。

●独立行政法人日本学生支援機構奨学金／給付・貸与

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難な学生を対象とした、学生本人名義の奨学金です。

●地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集は大学を通じて行うものと各団体が直接行うものがあります。大学に募集案内があった場合は、学内掲示板にてお知らせします。

●文部科学省外国人留学生学習奨励費

留学ビザの学生を対象に文部科学省が実施する奨学金制度です。月額48,000円で、受給期間は1年間もしくは半年です。

フライト・オペレーション（パイロット養成）コースのみ対象

●操縦士養成奨学金／給付

本学が定める家計基準（JASSO（日本学生支援機構）の貸与奨学金の第一種の世帯収入・所得上限相当）および成績基準等に基づき、該当する受給希望者に対して、2年次秋学期以降の学納金から60万円ずつを5セメスターに分けて減免します。（合計300万円、最大10名）

●（一社）航空機操縦士育英会「未来のパイロット」奨学金／貸与

貸与額：500万円を2年次に納入する訓練費から減免します。（最大5名）

※本奨学金希望者は、入学前の審査があります（入学後の応募は不可）。

詳細は本学ホームページよりご確認ください。

2．提携教育ローン制度

●桜美林大学提携教育ローン

① オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」　株式会社オリエントコーポレーション提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

②ジャックスの教育ローン　株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

③三井住友銀行提携教育ローン　三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

●日本政策金融公庫（国の教育ローン）

国が行っている入学金・学納金等を立て替え払いとする融資制度です。

3．高等教育修学支援新制度（本学は同制度の対象校として認定を受けています）

進学意欲がありながらも、経済的理由で進学が困難な学生へ、給付奨学金と授業料減免の支援が受けられる制度です。同制度の支援要件や選考基準等詳細については、学生課にお問い合わせください。
なお、高等教育修学支援新制度の採用候補者であっても各入学者選抜における入学手続きに伴う学納金は、入学手続締切日までに全額納付してください。入学後、所定の手続きを完了し、採用決定者であることが確認できた者に対し、減免金額を還付します。

■ 奨学金制度等についての問い合わせ先

● 学生部学生課（TEL：042-797-3128　メール：shogaku@obirin.ac.jp　平日／9：00～17：00）

● フライト・オペレーション（パイロット養成）コース在籍学生のみ対象奨学金は多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）事務室（TEL：042-356-6522平日/9：00～17：00）までお問い合わせください。

※ 文部科学省外国人留学生学習奨励費は国際部（TEL：042-797-5419 Email：inbound@obirin.ac.jp 平日/9：00～17：00）までお問合せください。

4 入学後に主に通うキャンパスについて

■ キャンパス一覧

学群	入学後に主に通うキャンパス
リベラルアーツ学群	町田キャンパス
グローバル・コミュニケーション学群	町田キャンパス
ビジネスマネジメント学群	新宿キャンパス

学群	入学後に主に通うキャンパス
健康福祉学群	町田キャンパス
芸術文化学群	東京ひなたやまキャンパス
教育探究科学群	相模原キャンパス
航空学群	多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）

各キャンパスへのアクセスは、本学ホームページ（https://www.obirin.ac.jp/access/）をご確認ください。

※ 航空学群フライト・オペレーション（パイロット養成）コースの学生は、多摩キャンパス（多摩アカデミーヒルズ）にて履修中は全員入寮することになります。詳細は入学関係書類で確認してください。

出願サイト上で入力

［様式1］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志願者経歴書

※卒業見込の場合は出願時の在学期間と在学年数を入力。学校所在地は都道府県名、国外の場合は国、州省名を入力。

高等学校入学以降を入力してください。

外国の高等学校出身者、国際学生選抜志願者は小学校入学以降を入力してください。

学校名	所在地	在学期間(西暦)	在学年数 ※自動計算
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月
		年　月～　年　月	年　か月

高等学校卒業後の学歴(大学・予備校・語学学校・各種専門学校等)や職歴・兵役等を入力してください。

学校名または勤務先	所在地	期間(西暦)	内容
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	
		年　月～　年　月	

外国の高等学校出身者は日本語の学習歴(高等学校等の課程や独習を含む)を入力してください。

学校名	1週間の修学時間	レベル
	時間／週	初・中・上
	時間／週	初・中・上
	時間／週	初・中・上

SAMPLE

出願サイト上で入力

［様式2］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

自己 PR シート

本学を志望するにあたり、以下①②③を盛り込み、あなたの特筆すべき業績・特徴・体験などについて入力してください。その際、本学受験生サイトおよび募集要項に掲載している「評価項目」を必ず確認し、内容を理解したうえで入力してください。

①これまでの学びや活動にどのように取り組み、その成功や失敗体験からどのような点を学んだか
②体験から学んだことを、志望する学群での学習や課外活動にどのように活かそうとしているのか
③大学卒業後の展望

＊1,200 字以上1,600 字以内（日本語）で入力してください。
＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は、600語以上800語以内で入力してください。

200

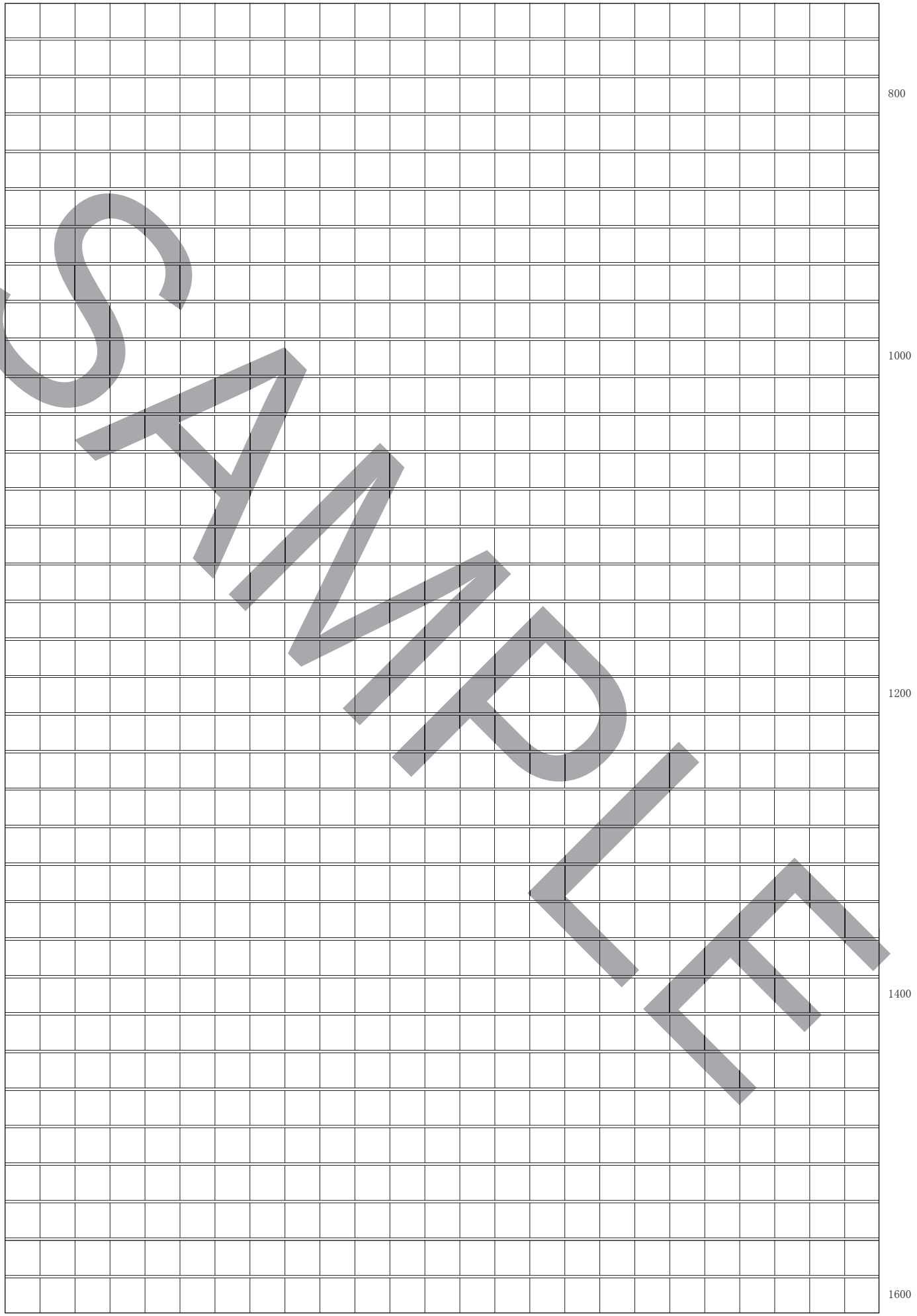
400

600

SAMPLE

出願サイト上で入力

[様式2]



SAMPLE

出願サイト上で入力

[様式3]

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

活動報告書

高等学校等入学後から出願に至るまでの期間における活動実績を、具体的に入力してください。
なお、実績内容の別添資料がある場合は、右端の資料番号欄と該当する資料に同一番号を入力し、郵送で提出してください。

※提出書類・資料は返却しませんので、重要なものはコピーを提出してください。

西暦年	月	学年	年齢	実　績　内　容	資料番号

学校その他の団体等における主な活動歴（実績内容と重複入力可）

期　間（西暦）	時間/週 注1	週/年 注2	学校団体等組織の名称	担当の役職	資料番号
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					
年　月～　年　月					

注１：週に何時間活動しているかを入力してください。　注２：年に何週間活動しているかを入力してください。

SAMPLE

各種競技・コンクール・展覧会・懸賞論文等参加歴（実績内容と重複入力可）

西暦年	月	年齢	競技・コンクール等名称	主催機関	成績結果・公式記録	資料番号

【追加記入欄】
役割とポジション（フォワード、ピアノ担当、ソプラノ）、あなたの参加・出場状況（年間出場試合数、出場時間など）具体的な記録（タイム、得点、順位、など）

資格・検定・段位等の取得（実績内容と重複入力可）

西暦年	月	年齢	資 格 等 の 名 称	資格級位	資格認定機関名	資料番号

【芸術文化学群への出願者のみ入力してください】
興味のあるアーティスト・クリエイター・パフォーマーなど

アーティスト名		代表作品	
理由			
アーティスト名		代表作品	
理由			
アーティスト名		代表作品	
理由			

SAMPLE

出願サイト上で入力

［様式4］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

志望理由書

学群の志望理由を入力してください。その際、本学での学修を通じてどのように成長し、将来、どのように社会に貢献したいのかについても入力してください。

受験する選抜・使用言語ごとに指定の文字数が異なります。		
総合型選抜：基礎力評価方式	（日本語）300字以上400字以内	（英語）150語以上200語以内
国際学生選抜	（日本語）500字以上600字以内	（英語）250語以上300語以内
学校推薦型選抜、社会人選抜、編入学者選抜（2年次編入）	（日本語）600字以上800字以内	（英語）300語以上400語以内

＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者のみ、英語で入力することができます。

200

400

600

800

SAMPLE

出願サイト上で入力

［様式6］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

探究学習報告書

○を付けてください
探究学習評価型　・　ディスカバ！育成型　・　コンテスト活用型

1．探究テーマ

探究テーマ	このテーマを発表した授業・コンテスト・プログラム等の名称

発表した授業・コンテスト・プログラム等の詳細は以下の欄に入力してください。

西暦	月	学年	年齢	主催団体	結果	○を付けてください	グループの場合　自分が果たした役割
例）2023年	12月	2年	17歳	○○高校	なし 入賞　など	個人・グループ	校内アンケートの作成・実施・結果のまとめ
年	月	年	歳			個人・グループ	
年	月	年	歳			個人・グループ	

2．“1. 探究学習テーマ”に記入した探究学習・活動について、以下の欄に入力してください。

＊募集要項で掲載している「具体的な評価ポイント」を必ず確認し、内容を理解したうえで入力してください。

この探究学習テーマを設定したのはなぜか、その背景や経緯について入力してください（200字以上400字以内）

＊ここでは「B.課題を設定する力」を評価します。背景を述べる際に、課題を設定するまでの過程がわかるように入力してください。

＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は100語以上200語以内で入力してください。

＊ディスカバ！育成型の場合は「Spiral認定証」を得たプログラム、コンテスト活用型の場合は「所定の成績を収めた本学指定のプログラム」の活動を中心に入力してください。

200

400

SAMPLE

どのような活動を行い、どのような結果や学びが得られたか、入力してください（500字以上700字以内）

＊ここでは「G.主体的に取り組む力」「H.協働的に取り組む力」を評価します。活動内容や結果を入力する際に、あなたが「主体性」や「協働性」を持って取り組んだことが分かる要素を加えてください。
一人での活動の場合、「協働性」を無理に述べる必要はありません。
＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は、250語以上300語以内で入力してください。
＊ディスカバ！育成型の場合は「Spiral認定証」を得たプログラム、コンテスト活用型の場合は「所定の成績を収めた本学指定のプログラム」の活動を中心に入力してください。

200

400

600

700

SAMPLE

探究学習・活動を通して得た学びを、本学での学びや自身の将来設計にどのように活かすのか、入力してください（500字以上700字以内）

＊ここでは「A.探究活動を継続的に行う力」「J.自己分析し、成長する力」を評価します。あなたの今後の学びや将来設計が分かるように入力してください。

＊グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は、250語以上300語以内で入力してください。

200

400

600

700

SAMPLE

3．“1. 探究学習テーマ”で選択した探究活動を行うにあたって参考にした書籍・論文・データ等

※主要なものを選び入力してください（最大5つまで）。全てを入力する必要はありません。

	書名・タイトル	著者・執筆者	出版社・URL（URLの場合は閲覧日も入力）
1			
	選択した理由 参考になった点		
2	書名・タイトル	著者・執筆者	出版社・URL（URLの場合は閲覧日も入力）
	選択した理由 参考になった点		
3	書名・タイトル	著者・執筆者	出版社・URL（URLの場合は閲覧日も入力
	選択した理由 参考になった点		
4	書名・タイトル	著者・執筆者	出版社・URL（URLの場合は閲覧日も入力）
	選択した理由 参考になった点		
5	書名・タイトル	著者・執筆者	出版社・URL（URLの場合は閲覧日も入力）
	選択した理由 参考になった点		

※URLの閲覧日が不明な場合は、おおよその時期・日程の入力で問題ありません。

※公開されていない論文、データ等をリストに入力する場合は、それがわかるように出版社・URLの欄に入力してください。（例：高校の先輩の論文、等）

4．探究学習実績

高等学校等入学後から出願に至るまでの期間において、授業内外の探究の実績でアピールしたい取り組みを具体的に入力してください。“1. 探究学習テーマ” で選択した探究活動およびその他の探究活動の実績も入力してください。全ての欄を入力する必要はありません。

	西暦	月	学年	年齢	実績内容	資料番号
例）	2021	10	2	17	地元企業と共同で〇〇に関する商品を開発。さらにPRオンラインイベントを開催し、総勢〇〇人に購入いただいた。	
例）	2022	9	3	18	校内で〇〇に関するアンケートを実施。〇〇人に回答いただき、集計したデータをもとに卒業論文を作成中。	

5．探究学習・探究活動以外の活動実績

西暦	月	学年	年齢	実　績　内　容	資料番号

SAMPLE

6 . 成果物の要旨

別途提出する「探究学習の成果物」の概要を入力してください。加えて、成果物の作成にいたるプロセスを説明してください。

＊文字数不問・上限400字（グローバル・コミュニケーション学群の志願者で英語で作成する場合は、上限200語で入力してください）

200

400

SAMPLE

出願サイト上で入力

［様式7］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

キリスト教活動申告書

洗礼を受けてから、今日にいたるまでのあなた自身の信仰生活について入力してください。

＊200 字以上300 字以内（日本語）で入力してください。

200

300

桜美林大学へ進学後、あなたはキリスト者としてどのような学生生活を送りたいと考えていますか。
キリスト教関連の活動について（チャペルアワーやキリスト教センター主催のワークキャンプへの参加など）、入学後の抱負を入力してください。

＊200 字以上300 字以内（日本語）で入力してください。

200

300

SAMPLE

指定医療機関を受診し、コピー郵送

［様式9］

（航空学群 フライト・オペレーション（パイロット養成）コースのみ）

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

桜美林大学 航空身体検査

年　　月　　日

1 氏名	2 住所 郵便番号

3 本籍（外国人にあっては国籍）	4 生年月日 年 月 日	5 年齢	6 性別 男 女	7 総飛行時間	8 過去6月間の総飛行時間

9 既往歴等　各項目毎に該当の有無を○印で記入すること。

病名等	有	無	病名等	有	無	病名等	有	無
糖尿病			直腸・肛門の疾患（痔等）			てんかん又は痙攣（けいれん）		
内分泌及び代謝の疾患（高脂血症、高尿酸血症等			肝臓・胆道系の疾患			失神等の意識障害		
アレルギー疾患（喘息・花粉症等）			腎臓・泌尿器・生殖器の疾患			頻繁又は強度の頭痛		
日中の過度な眠気又はいびきの指摘			関節、背部又は腰部の痛み			目の疾患		
呼吸器・肺の疾患			外傷			耳鼻咽喉の疾患		
胸痛、胸部圧迫感又は動悸			精神又は神経系の疾患			ふらつき又はめまい		
心臓の疾患			頭部外傷又は脳震盪（のうしんとう）			治療を要する乗物酔い		
高血圧			自殺未遂			その他治療を要する疾患		
胃腸の疾患			薬物・アルコール依存					

10 該当するものがあればできるだけ詳細に記入すること（部位、原因、時期等）。

	有	無	詳細
入院又は手術			
航空事故又はその他の事故			
航空身体検査不適合又は国土交通大臣による判定の結果等			
現在常用している医薬品（外用・睡眠薬を含む）			
その他の参考事項			

私は、この申請書の記載事項が、私の知り得る限り、真正であることを誓います。

申請者署名

年　　月　　日

11 検査開始年月日	12 身長 cm	13 体重 Kg	14 BMI	15 尿検査		16 血圧 mmHg	
年 月 日				蛋白	糖	収縮期	拡張期

17 遠見視力																		18 中距離視力					
裸眼視力							矯正視力						常用眼鏡 屈折度					右		左		矯正	
右		・			両眼		右		・		両眼		右			・		適合	不適合	適合	不適合	有	無
左		・			・		左		・		・		左			・							

19 近見視力							20 両眼視機能							21 視野				22 色覚	
				矯正			斜視		不同視				輻湊近点mm	右		左			
右		・		有	無		有	無	有	深視力 mm	□ 二杵		無	距離	正常	異常	正常	異常	正常	異常
左		・									□ 三杵								

23 純音聴力																24 聴力		25 眼圧 mmHg					
	記号	500Hz		記号	1,000Hz		記号	2,000Hz		記号	3,000Hz					後方2m			年	月	日	右	左
右																適合	不適合						
左																		検査年月日					

26 安静時心電図検査						27 胸部エックス線検査					28 脳波検査				
	年	月	日	正常	異常		年	月	日	正常	異常		年	月	日	正常	異常
検査年月日						検査年月日						検査年月日					

29 検診所見　各項目毎に正常・異常の所見を○印で記入するとともに、異常の所見については「30 医師記入欄」に詳細に記入すること。

病名等	有	無	病名等	有	無	病名等	有	無
頭部、顔面及び頚部			脊柱、筋及び骨格			外耳・中耳（聴力は23･24項に記載）		
呼吸器又は胸部（乳房を除く）			皮膚又はリンパ系			鼓膜（穿孔等）		
心臓（心音・心雑音・不整脈等）			精神系(行動、気分、コミュニケーション、記憶等)			鼻、副鼻腔及び咽喉頭		
脈管系（左右差、脈拍数等）			神経系（脳神経、腱反射、平衡機能、感覚、協調運動等）			口腔及び歯牙		
腹部（ヘルニアを含む）			眼（視力視野等は17項から22項までに記載）			全身状態		
腎・泌尿器・生殖器系			眼球運動（共同運動、眼振等）			その他		
上下肢（筋力・可動域等）								

30 医師記入欄

□ 航空業務に支障をきたすような特記事項なし

□ 第1種基準においても適合

□ 注意項目有り

本書類は、桜美林大学受験においてのみ使用可である。

桜美林大学より指定医療機関への連絡欄

左記30 医師記入欄の該当する項目にチェック（レ点）をしてください

また、注意項目がある場合は詳細を空白にご記入ください。

31 適否の別

□ 第1種基準において適合

□ 第1種基準において不適合

32 不適合の理由

33 証明に付した条件

34 航空身体検査指定機関の名称及び代表者氏名

印

航空身体検査指定機関指定番号

35 指定航空身体検査医の氏名

印

航空身体検査医指定番号

出願サイト上で入力

［様式11］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

経費支弁書

桜美林大学長　殿

【申請者】

氏名: _____

国籍: _____　　生年月日: _____年 _____月_____日

【経費支弁者】

住所: 〒 _____

氏名: _____　　英字氏名: _____

申請者との関係: _____　　電話番号: _____

記入日: （西暦）_____年_____月_____日

私は、このたび上記申請者が日本国に入国した際および貴大学在学中の経費支弁者になりましたので、以下の通り経費支弁を引き受けた経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

1．経費支弁を引き受けた経緯

（申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に入力してください。）

2．経費支弁内容

私は、申請者の日本国滞在について、以下のとおり経費を支弁することを証明します。また、申請者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

経費の支弁方法等（合計金額が1年間の学納金等を十分賄える金額となるように入力してください。）

支出元および月平均支弁額　※該当する項目の□に✓を入れてください。		支弁方法
□ 申請者	（　　）円	
□ 経費支弁者	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等
□ その他	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等
□ 奨学金	（　　）円	□振込　□携行　□海外送金等

(奨学金受給機関名)　※該当する項目の□に✓を入れてください。

□外国政府　□日本国政府　□地方公共団体（　　）

□公益社団法人または公益財団法人（　　）□その他（　　）

SAMPLE

出願サイト上で入力

［様式12］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

在留資格認定証明書　大学代理申請願

私は海外在住のため、桜美林大学入学における留学ビザ取得に必要な「在留資格認定証明書」の申請を、私自身が日本で行うことができません。つきましては、私に代わり桜美林大学が同証明書の申請手続きを行っていただきますよう、宜しくお願いいたします。

なお、以下の各項の内容について了承の上、依頼いたします。

1．提出した書類に不備・不足のあった場合、代理申請が行われないことについて異議申し立てをしません。
2．入国管理局から「在留資格認定証明書」が発行されない場合、桜美林大学に責任を求めません。
3．入学許可日から、入学日・来日予定日までの間の日数が少なく、その結果、日本への入国が入学式、授業開始日、各種オリエンテーション参加に間に合わない場合であっても、それを承諾し、異議申し立てをしません。
4．「在留資格認定証明書」の発行状況に関わらず、「入学辞退申請期限」を過ぎた後の辞退（返金）は認められないことについて、異議申し立てをしません。

記入日	（西暦）　　年　　月　　日
氏名（英語表記）	
フリガナ	
E-mail	
住所	
電話番号	（国番号から入力してください）

※既に日本の日本語学校・高等学校等に在籍しており、日本の在留資格（留学ビザ等）を持っている方はこの書類の提出は不要です。

SAMPLE

紙提出（本人自筆）

［様式13］

（※大学使用欄）受験番号：

フリガナ	
氏名（NAME）	

桜美林大学 個別の入学資格審査申請書

桜美林大学長　殿

桜美林大学の入学資格審査を受けたいので、必要書類を添えて申請します。

（フリガナ）
氏　　名（自署）　　国　籍

生年月日　　年　　月　　日（　　歳）　　性　別　　男　・　女

〒　　電話（自宅）

住　　所　　電話（携帯）

出願予定の学群　　出願予定の選抜方式

（学習歴）

① 初等教育（小学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

② 中等教育（中学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

③ 中等教育（高等学校相当）

教育施設名

教育施設の住所

在 学 期 間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

④ 教育施設名

教育施設の住所

在学期間　　年　　月　入学　～　　年　　月　卒業

注：学習歴欄で転校等により、２ヶ所以上在籍がある場合は本用紙をコピーし、使用してください。